



RI会長
チャールズ C.
ケラー
(米国)

RI会長方針

RIチャック会長(この愛称で親しんだ)は国際協議会の冒頭で次の様に講演した。

世界は狭くなった。大陸間も太平洋も数時間で往来できるし遠く離れていてもテレビ電話で顔を見ながらお喋りできる。然し身近な隣近所の人々と親しい交流はあるのだろうか。銀行へ行っても機械のボタンを押すだけで人と話を交すことはない。文明は発達したが人間的な心の触れ合いが少なくなったということです。

私の年度はどうぞ手の温もりが直接伝わる

1987~'88年度RIのテーマ ROTARIANS...UNITED IN SERVICE-DEDICATED TO PEACE ロータリアン... 奉仕に結束 平和に献身

奉仕をして下さい。ロータリーも先ず身近な奥さんや家族から、そして職場や周囲の人達に理解してもらって下さい。

何んらかの機会に会員の奥さんに尋ねてみて下さい。「あなたの主人はクラブのどの委員会に属しどんな奉仕活動をしているか」と。正しく答えられるのは会長や幹事の奥さんぐらいでしょう。従ってこの為にもクラブ週報はぜひ家族にも見せる様に指導して下さい。

ここからロータリーは出発するのです。そしてこれが行動する奉仕、そして世界平和をもたらすのです。



ガバナー
田中 徹
(半田)

1926年3月4日生
1974年 半田RC入会
1979年 同会長
1983年~'84年
尾張第一分区代理
シニアアクティブ
(精神・神経科病院)

年度の方針及び活動内容と感想

新しい地区の初年度である。

地区分割前のD260、塚田年度は101クラブ、会員6,946名の大世帯であった。分割して愛知県D276は60クラブ、会員4,735名は判っていたが地区予算を立てるのに何を重点項目と

しどの様に予算を組むか最も苦心した。

又、塚田年度の地区大会で承認されたボリオプラスプロジェクトに1人年間5,000円、4年間で1人20,000円を集める運動をどの様に推進したらよいのか、この為に地区ボリオプラス委員会を設置、委員長に福田浩三バストガバナーに就任いただいた。

又、ロータリー情報セミナーを開催、カウンセラーに津田進PDG(川崎北RC)をお招きし熱心な会合を開いた。

この年度の特記すべきはWCSの見直しで過去にフィリピンにクラブレベル、地区レベルの多額の奉仕をしてきたがこれが実際に如何に有効に機能しているか、現地の実状をこ

が核となりフィリピンの3800・3810両地区からの義援金を合わせたものでR財団に同額補助金を申請したところ交付になり総額約10万ドルに達し、これによって被災地に職業訓練校とその器材を購入する事が出来、開所式には安藤幸治委員長に出席願った。

この年度に創立されたクラブは 西尾 KIRARA RC 5月10日 チャーターナイト 特別代表 加藤赳夫君 会員数 53名

昭和RC 6月30日 チャーターナイト 特別代表 水谷守一君 会員数 65名 の2クラブで、昭和RCは名古屋東RCの小出忠孝君らのご尽力により年度内に創立をみたものである。 東海RACが東海RCのスポンサーにより3月18日創立され地区内で9番目のRACとなった。

RACの年次大会は5月23・24日両日小牧RACの主催により小牧ロイヤルホテルにて開催され450名の出席があり環境問題を討議した。

地区大会は、年度の終わり近くの6月6・7日、ホスト名古屋港RC、大会委員長鈴木忠源君、副綱島彰君の下で名古屋観光ホテル・名古屋国際会議場で開催された。港RCの総員を挙げての熱意と鈴木・綱島両委員の周密な用意とが相俟って肅々と開催され地区外より30名のガバナーをお迎えした。ソニーの盛田昭夫会長には“これから日本の歩く道”の講演をいただき印象を深くした。

今年度の蔵並理事主催のアジア第1・第3ゾーン研究会が豊橋RCをホストに森泰樹・高沢隆両PGが委員長として開催され台湾・韓国・米国からの参加もあり総勢600名に及んだ。

RIからはケラー元会長、スペンサー・ロビンソン事務総長が来日した。

佐藤知雄PGが3月10日 安野謙次PGが4月5日逝去され当地区が誇りうる立派なPGを失ったのは痛恨のかぎりである。

加納ガバナー年度の思い出



地区副幹事
栗田 義郎
(名古屋中)
1936年4月19日生
1978年4月17日
名古屋中RC入会
1985~'86年 幹事
1989~'90年
名古屋第一分区代理幹事
シニアアクティブ
(印刷業)

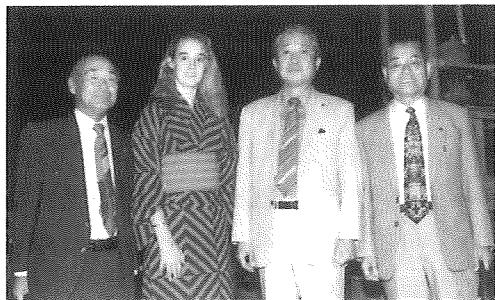
1990年に中RCの加納泉君がガバナーノミニーに決定し、まず事務局の設立、メンバーの選出と、連日連夜の役割分担、漏れのない計画を綿密に立て準備に苦労した。

いざスタートとなると各クラブの公式訪問が重要でメンバーが交替でガバナーのお供を

して各クラブを訪問したが例会場所、例会の進め方、クラブの雰囲気が皆それぞれ違っていて個性あふれ、大いに楽しく勉強になったが、やはり指導者次第でクラブの活動に差がつく事も判った。

各クラブの会長を始め、幹事の方々と楽しいひとときを持ち非常に多くの方々と知り合いになった事が良き思い出となった。

加納ガバナーの卓話は非常に好評で、時には奥様も卓話されガバナー以上の様であった。 ガバナーについては人間味あふれる人柄、ロータリーに対する深い考え方の持ち主、人格、見識共に申し分のない方との評を得、事務局員一同大変うれしく思った。



一色の大提灯祭に参加して
催され(1月21~25日)田中徹PGが地区代表
議員として出席された。

RI理事会は日本のロータリアンが奉仕の
理想の金看板として来た、“決議23-34”は
古くなつたのでこれを破棄して、社会奉仕に
関する新声明を提出する事に決めた。その陰
には、Polio-plusキャンペーンにより世界中の
ロータリアンから集めた募金が、2億8千
万ドルにも及び、WHO、ユニセフと共同で
開始された小児麻痺撲滅運動が成功し、南北
アメリカ大陸では小児麻痺“零”宣言をなし
得た動きがある。

ロータリーとは一つの人生哲学で、ロータ
リーカラーロータリー精神を取り去つたら何が
残るのか？「それは単なるボランティア団体
寄付団体である。」という日本のロータリアン
の考え方は感傷論で、古いのか？。

ロータリーは世界とともに変化し、成長し
てゆかなければならぬ。地域のニーズもさ
る事ながら、グローバルに奉仕活動を広げ恵
まれない国、飢餓に苦しむ人達のために、
WHO・ユニセフ・ODA・NGOなどの運動
に参加・協力すべきであるのか？。

所謂 I serve か We serve かの節目の年
であった。

規定審議会ではサブー会長の理解と日本の
職並理事の努力で“決議23-34”は残る事も
なつた。又、RIが健全財政を維持する事も

決議され人頭分担金が2ドル増加された。更
にR財団の各地区へ還付金については従来通
り3年後に寄付額の60%(従前は100%)とな
り残り40%はRI本部でのプロジェクトに使
用される事に改められた。

長崎県雲仙普賢岳が、'91・6月に爆発し
その災害救援募金5,908,415円を長崎地区ロ
ータリーを通じて長崎県に寄付。全国ロータ
リーからの募金は1億2千400万円に及び災
害復興基金として利用された。

WCS活動は安藤幸治委員長の熱心な働き
で、地区内全クラブがクラブ独自の立場でこ
のプログラムに参加。11月28日より12月4日



「環境の木」を植樹（豊橋RC）
にわたり19クラブより29名の会員がタイ、フ
ィリピンを訪問。

タイ31クラブに対し5,239,000円 比国45ク
ラブに対し6,091,200円 ピナツボ火山爆発
被災者義援金 \$36,000 ; 4,750,000円 計
16,982,200円を自らの手で贈呈した。

ピナツボ火山爆発被災者義援金はこの基金



WCS訪問団を歓迎するチェンマイの児童たち



チャールズ C ケラー会長と

の目で確かめたいと思いフィリピンを訪ねた。マニラでは同期のガバナーから説明を受け、担当の大臣にも会う機会があった。結論は金品は有効に使われていたがともすると現地クラブの社会奉仕に利用されることもあり今後のフィリピンへのWCSはそのクラブが行っている奉仕活動の不足分を補うことに限るという制限を加え且つクラブ及び地区が計画書を提出しその結果の報告をも義務づけることに改めた。実際現地クラブはWCSで世界の各クラブから金を集め社会奉仕をしている他力本願型もこの目で見ることができた。

ポリオプラスキャンペーンは I Serve か We Serve かの多くの議論があったがロータリアンが街頭に立ってポリオ撲滅を訴えて募金したクラブもあった。然し全くエンジンのかからぬクラブもあった。



地区大会

地区大会は3月26日～28日ホスト半田クラブで新築されたばかりの半田市福祉文化会館で大会テーマ「祭と光」を掲げRI会長代理千宗室氏を迎えて開催。中小都市でも地方色豊かな大会を開くことのできる第1号であった。

新クラブは尾張第一分区に知多RCが1989年3月6日認証状伝達式を行って誕生。これによって地区内のクラブ数61クラブ、会員4,888名となり年間出席率98.36%、極めてまじめで優秀な地区となった。

総括して素晴らしい地区であり新地区第1号のガバナーを拝命したことは誠に名誉であった。国際協議会から戻ってすぐの地区協議会で私は「ロータリーであれ、ロータリーでななるべし」と申し上げたが、これがこの1年の私のモットーであった。

新しく誕生した地区なので形骸化しない明るい楽しいロータリーを目指した。チャック R I 会長は広報に力を入れてくれと言われ、これには先ず夫人をはじめ家族にロータリーを広めて下さいと要請された。

公式訪問でクラブ会報の重要性とこれをぜひ奥さんやお嬢さん息子さんに見せてくれと申し上げた。変わったことを言うガバナーだと思われたかも知れぬがクラブ会報を家族に見せてご主人のクラブがどんな奉仕活動をしているか知っている夫人は皆無であろうと思われた。事実ご夫人方に尋ねたが知っている人はなかった。

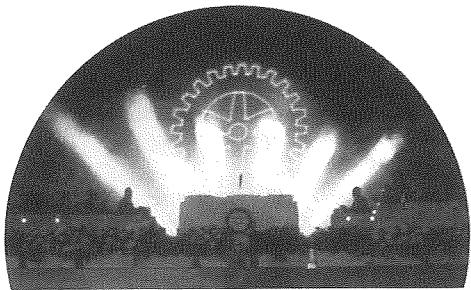
実は驚いた事もあった。名古屋クラブの会報が「奥さんお嬢さんのページ」を持ち料理を主とした家族向けの記事を掲載していたことである。これを範としてクラブ会報の活用をお願いして廻った。

又、一色R Cでは公式訪問と創立25周年記念と重なり吉良の華蔵寺で茶会を催してもらった。このクラブのテリトリーには日本一が3つある、養鰻と大提灯とカーネーション栽培で名君義央公を祀る吉良家の菩提寺が華蔵寺である。寺宝の百人一首は300年前のものでこれを染筆した百人の公卿さんを検べたのもクラブのメンバーであった。

又、奥三河R Cの公式訪問は室内を同伴して泊まりがけで出掛けた。クラブの所在地が辺境なのでマークアップすることも困難であり、奥さん方が語らってロータリーに参加することも至難である。この日は特に奥様の出席を願って私がクラブ協議会を開いている時に室内は奥さん方と懇談会を持ってR I会長夫人の話や国際協議会での体験を話してもらった。クラブや会員は日頃外国人と接する機会が少ないとと思っていたが、例えば夏のキャンプや祭りなど交換学生や米山奨学生を招いて

国際親善、理解に努めていた。

地区61クラブはそれぞれ特長があり素晴らしいクラブばかりであった。活動も大切だが明るく楽しいことも大切である。これならば大丈夫と確信した一年であった。



地区大会テーマ“祭と光”↑



田中ガバナー年度の思い出



地区副幹事
内田栄一
(半田)
1933年8月29日生
1961年2月
半田RC入会
1989~'90年 会長
1995~'96年
地区WCS副委員長
シニアアクティブ
(和菓子製造)

RI第260地区が分割され、長野県は、260地区に、愛知県は276地区となった最初の年度である。

田中ガバナーは地区分割のため前年度から塙田ガバナー、篠田ノミニー(260地区)と頻繁に連絡をとり、随分ご苦労された。

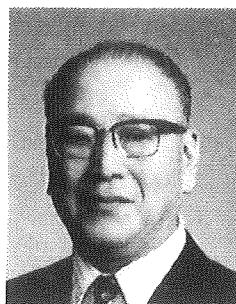
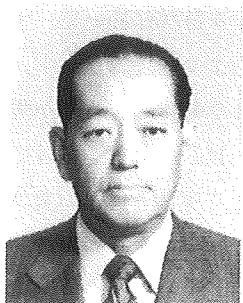
この年、半田クラブはガバナー事務所を開設するとともに地区大会も引き受けているの

で、未経験の地区運営と、大会ホストの大仕事が重なり、非常に忙しい思いをした記憶がある。当時の地区幹事沢田貞市氏は、親分肌の性格ながら実に緻密な外交手腕を発揮され、地区内を見事にまとめられたが、残念なことに1992年、急逝された。

ガバナー事務所の仕事は、ガバナーを助けて事務処理をするほか、各クラブとの連絡、会議の準備など多岐に亘り、とくに地区諮問委員会の資料作りとその運営には気を遣ったが、地区大会の準備で手続上のミスがあり冷や汗をかいたこともあった。

しかしながら、勉強家でロータリーに精通した田中ガバナーのご指導と、沢田幹事の巧みな地区運営のお陰で、大過なく任期を全う出来たと思っている。

分区代理

尾張第一分区
山田 喬(東知多)名古屋第一分区
浅井久一郎(名古屋港)名古屋第二分区
水野勝之(名古屋北)東尾張分区
北 秀之(春日井)西尾張分区
松永 登(一宮)三河第一分区
内柴義郎(田原)三河第二分区
加藤 博(一色)

ガバナー事務局メンバー

地区幹事 沢田 貞市 (半田)

地区副幹事 鈴木 勝彌 (半田)

地区副幹事 内田 栄一 (半田)

地区副幹事 杉浦 三郎 (半田)

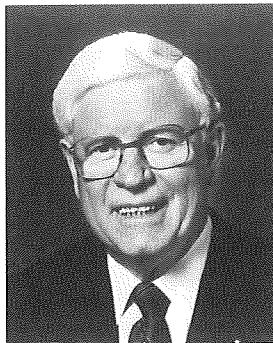
地区副幹事 北折 義孝 (半田)

地区会計長 鈴木 亮三 (半田)

地区監事 角田 博 (半田)

事務局員 前田 博美

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第79回)	フィラデルフィア (ペンシルベニア州)	1988年 5月22日 ~25日	チャールズ・C・ケラー (米国)		16,316名
地区大会	半田市福祉文化会館 名古屋観光ホテル	1988年 3月26日 ~28日	千 宗 室 (京都)	半田	2,081名
	大会テーマ : 祭と光 記念講演 : 「日本人の宗教心について」 哲学者・国際日本文化研究センター所長 梅原 猛氏				
地区協議会	江南市民文化会館 江南市保健センター	1988年 4月24日	高沢 隆 GN	江南	743名
期末の会員数・クラブ数			4,888名	61 RC	



RI会長
アルバート・ヘンリー
ロイス・アビー
(オーストラリア)

RI会長方針

ロータリアンの皆さん

活力とは行動を意味します。ロータリーは行動です。ロータリーとはロータリーが何をするかです。しかし、あなたなしに、ロータリーは存在しません。ロータリーは行動志向の奉仕団体です。あなた自らが直接参加することによってロータリーが生きるのです。だからこそ、私はあなたに要請します。

「ロータリーに活力を—あなたの活力を」
あなたの心の奥にあるのは、奉仕への献身すると云う確固たる決意です。奉仕へのこの決意は、地域社会や世界の人々の生活水準を

1988~'89年度RIのテーマ

PUT LIFE INTO ROTARY—YOUR LIFE ロータリーに活力を— あなたの活力を

高めたいと云う願望が、基になっているばかりでなく、他の実業人や専門職業人、あなたのクラブの友人との特別の友情からも生まれます。ロータリアンは、クラブに於いて、またクラブを通じて、最もよく奉仕できます。

明確な目標があってこそ積極的な行動が生まれます。私たちが高い目的と目標を掲げているのは、尽きることなく現れる新しい要請に全力を挙げて挑戦しなければならぬからです。ロータリアンの皆さん、私は、皆さんに行動するよう要請します。

「ロータリーに活力を—あなたの活力を」



ガバナー
高沢 隆
(豊橋)

1925年3月23日生
1958年 豊橋RC入会
1974~'75年 会長
1977~'78年 地区幹事
シニアアクティブ
(水産物配布)

年度の方針及び活動内容と感想

ロイスアビー会長のテーマは、クラブとロータリアン個人に活力と行動を要請したものである。私はアビー会長のテーマに従って4つのガバナーファイブを提案し、各クラブに次のように要請した。

1. クラブ活動に全員の参加

申すまでもなくロータリーは多忙な人達の集まりである。そのためクラブの活動は役員と委員のみにまかされ、大多数の会員は、例会に出席するのみになっている。本年は、古い会員も新しい会員も、全会員がクラブ活動に参加出来る機会を設けるよう要請する。

2. クラブ例会のマンネリ化打破

クラブの例会は会員にとって満足すべきものであるか。例会について会員の不満はないか。例会はロータリーの基本である。例会はロータリーを知り、友情と親睦を育てる最高の場所である。例会の構成と内容について、いま一度検討するよう要請する。



豊橋RC公式訪問

3. ロータリー情報の普及

ロータリーは難しいという声がある。ロータリーの目標は超我の奉仕の哲学にあるといわれており、とかく難しく解釈されているが、超我の奉仕とは、他人に対する思いやりの精神であると考えられる。最近はロータリーについての新しい情報資料が多く発刊されているので、ぜひご利用いただきたい。

4. 拡大と会員増強

276地区は、7月1日現在、会員数4,862名、クラブ数61である。クラブの平均会員数は約80名、日本最大のクラブ会員数地区である。会員数100名超のクラブが10、50名未満は5クラブである。

クラブの人数が限度以上になると、会員相互の親睦は困難になってしまう。列車で名刺の交換をしたら同じクラブのメンバーであったなど、笑えない事実も発生しがちである。クラブの平均年齢の増加を生み、クラブ活動のマンネリ化なども起つてくることになる。私は拡大による会員増強を本年度の最大の課題とした。この道は誠に困難な道であると思うが、全力を傾注したいと思う。276地区と人口が似ている他地区ではすでに90クラブ以上になっている。拡大について、各クラブのご理解とご協力をお願いする次第である。

◎年度内の主な行事について

1. 公式訪問

訪問クラブ数 63(内新クラブ2)。

訪問期間 7月8日より翌年4月11日まで。

訪問時間 9時~10時会長幹事会、10時~12時 クラブ協議会、12時半例会。

早朝よりの公式訪問としたのは、1日が有效地に使えると考えたからである。ただし早朝出発の為、通勤ラッシュと重なったり、事故で電車が遅れるなどハプニングもあったが、気合いの入った訪問が出来たと思っている。

2. 地区大会

日程(1989年)

4月22日 ホテルナゴヤキャッスル

4月23日 刈谷市民会館・体育館

4月24日 萩カントリークラブ

参加人員 2,288名

ホスト 刈谷、コホスト、碧南、高浜

大会委員長 太田一造

RI会長代理 中島治一郎(泉大津)

大会は2日間とも少々雨が降ったが、予定のプログラムを順調に行うことが出来た。

大会のポイントは、第1日のパストガバナ



地区大会懇親会

ーによる「ロータリーフォーラム」、第2日のフィリピン第381地区より特別参加されたオスキーガバナーを迎えての世界社会奉仕活動の報告であった。また、親睦会は郷土芸能の催しもあって大変盛り上がった会となつた。

3. 昭和天皇崩御

1989年1月7日昭和天皇崩御、年号は平成

と改まり、全国民悲しみの日であった。

◎重点的に実施した事業

1. 拡大の推進(新設クラブ)

2 クラブの結成ができた。

①豊橋ゴールデンRC

創立 1988年10月28日

伝達式 1989年3月19日

スポンサークラブ 豊橋RC

特別代表 河合圭吉(豊橋RC)



豊橋ゴールデンRCチャーターナイト

②岡崎城南RC

創立 1989年3月7日

伝達式 1989年11月7日

スポンサークラブ 岡崎南RC

特別代表 中村繁男(岡崎南RC)

本年度の重点課題として、具体的に要請したクラブ数、12。うち本年度2、盛田年度1、中村年度5、計8クラブの結成が出来た。

2. 世界社会奉仕活動(WCS)

現地訪問

1988年9月 フィリピン訪問(29名) 1989年1月 タイ訪問(4名) 1989年3月 フィリピン訪問(8名)

活動実績としては、2ヶ国合計12,642,500円であった。

3. 青少年奉仕活動(260地区と合同)

インター アクト ハワイ派遣(21名) ローターアクト シンガポール派遣(30名)

海外研修の復活は両クラブの活性化につながる。

高沢ガバナーアイデアの思い出



地区幹事
石川 和昌
(豊橋)

1932年4月2日生
1961年2月
豊橋RC入会
1979~'80年 会長
シニアアクティブ
(貨物自動車輸送)

神野太郎バストガバナーの熏陶を得、森パストガバナーの地区幹事を務め、ロータリーに精通したガバナーであった。ロータリーを知り過ぎている故に堅過ぎるのではないかとの風評をよそに臨機応変、熱心で素晴らしいリーダーシップを發揮された。特に拡大と増

強に力を入れ、豊橋ゴールデンRC(河合圭吉特別代表)岡崎城南RC(中村繁男特別代表)を生み、更に名古屋、豊田、一宮、田原等へ働きかけ、次の盛田ガバナーへ拡大の大きな素地を残された。また、WCSフィリピン訪問に参加されたり、インター アクトの海外派遣を再開される等持ち前の行動力と決断にスタッフ一同忙しい思いをしたが大変教えられる所が多く、それでいて和気あいあい楽しい1年余を一緒に過ごさせて頂いた。

文字通り正統派のガバナーとして健康に留意され、何時までもロータリーの発展に寄与して頂きたいと思っている。

分区代理



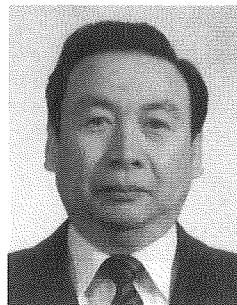
尾張第一分区
吉田 守(半田南)



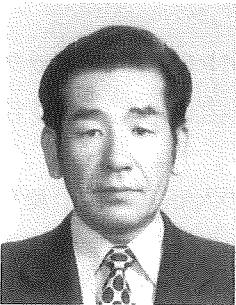
名古屋第一分区
渡辺 裕(名古屋東南)



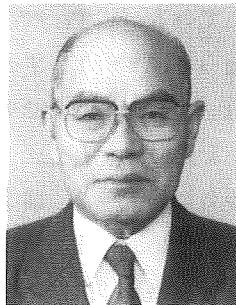
名古屋第二分区
蜂谷弘道(名古屋和合)



東尾張分区
加藤 守(尾張旭)



西尾張分区
加藤千博(尾西)



三河第一分区
岩瀬正雄(蒲郡)

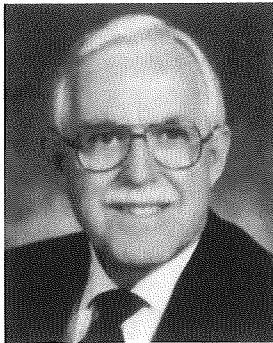


三河第二分区
吉田五郎(豊田東)

ガバナー事務局メンバー

地区幹事	石川 和昌 (豊橋)	地区副幹事	川部 庭資 (豊橋)	地区会計監事	内山 卵 (豊橋)
地区副幹事	三浦多久二 (豊橋)	地区副幹事	森 澄 (豊橋)	事務局員	山田 邦子
地区副幹事	神野 紀郎 (豊橋)	地区会計長	小田 公平 (豊橋)		

会 合	場 所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第80回)	ソウル (韓国)	1989年 5月21日 ~24日	アルバート・ヘンリー ロイス・アビー (オーストラリア)		38,878名
地区大会	ホテルナゴヤキャッスル 刈谷市民会館 刈谷市民体育館	1989年 4月22日 ~24日	中島 治一郎 (泉大津)	刈谷	2,288名
	大会テーマ : 「ロータリーに活力を！あなたの活力を！」 記念講演 : 「アメリカ経済の見通しと財政政策」 NHK 日高義樹				
地区協議会	ホテル・ホリデイ・イン豊橋	1989年 5月28日	盛田 和昭 GN	豊橋南	767名
期末の会員数・クラブ数			5,122名	63 RC	



RI会長
ヒュー M.
アーチャー
(米国)

RI会長方針

ロータリーの活動には楽しみが一杯あります。毎週の例会で、あなたは同僚会員と顔を合わせます。そこではこの人達が持っている様々な趣味や知識から受ける刺激によって、あなたの関心を地域社会に向けてくれます。毎週の例会はその一步に過ぎません。私達の身近な所の、あるいは遠いあなたの奉仕に思いを馳せていると、自己中心の殻から抜け出て他者への奉仕という不思議な世界に連れ出されるのです。

見知らぬ他人のために、自分の時間と能力を捧げてその人の生活を向上させてあげると、今度はかえって自分自身が人間的に大きく成長することが分かります。要するにロータリ

1989～'90年度RIのテーマ

ENJOY ROTARY! ロータリーを楽しもう!

アンであること、そして地域社会の指導者達と手を携えて日々稔り豊かな命の流れに身をゆだねることはなんとも気持ちのよいことです。

1. すべてのロータリアンにとって、クラブ会員であることが心満ちた体験となるようにして。
2. 職業奉仕が各会員の人生において、稔り多き体験となるようにして。
3. あなたの地域社会をみんなに喜ばれるところにして。
4. 住みやすく素晴らしい世界をつくって。

国際援助のボランティアとなり、他国のロータリアンとの親睦という感激を味わいましょう。さあロータリーを楽しもう。



ガバナー
盛田 和昭
(名古屋)

1923年3月5日生
1955年2月
名古屋RC入会
1978～'79年 会長
シニアアクティブ
(日本酒販売)

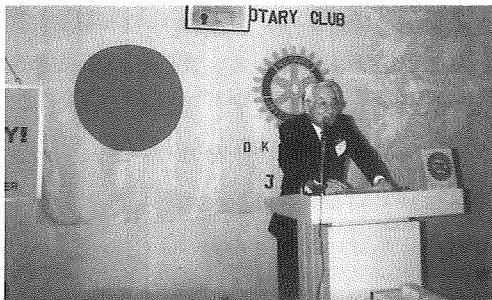
年度の方針及び活動内容と感想

私はガバナーとして特にテーマを発表しなかった。何故ならばRI会長が「エンジョイロータリー」という素晴らしいテーマを掲げ

た上にガバナーが更にテーマを発表することはロータリーを複雑にすると思ったからである。

各クラブ会長はそれぞれのクラブの歴史、地域の特性、クラブの大きさ等を考えて会長方針を発表される。それは各クラブがそれぞれ特長を發揮することで、非常に大切なことである。

RI会長方針、そしてクラブ会長方針で十分だ。ガバナーはRI会長とクラブとの間に立って、双方が緊密に結びつくようにする中継所なのである。ロータリーの組織はあくま



'89.10.25 岡崎RC公式訪問

でシンプルであるべきだと考えている。

この考え方から分区代理の皆さんには、ガバナーと分区代理が重複して、クラブの負担にならないようにお願いした。そのためまず分区代理に各分区を訪問していただき、役員、委員長とじっくり懇談して、立派な報告書を作っていただいた。おかげで、ガバナーの公式訪問はその報告書をもとにして、短時間のアセンブリーで十分に効果を上げることが出来た。

また私は、ガバナーが特定の環境を持つ人でないとできないような制度は変えるべきだと考え、ガバナーの最大の任務である公式訪問を効率化すべく、可能な限り2クラブ合同で行った。これには当時批判もあったが、犬飼年度からRIが複数クラブの合同訪問を推奨していることから、私の行ったことが間違ってはいなかったのだと自負している。また犬飼年度より分区代理がガバナー補佐として仕事を任せるよう指導されていることも、私の考え方と同様になったと思っている。

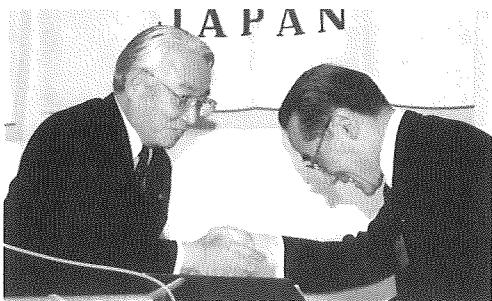


地区大会にて千宗室RI会長代理と盛田ガバナー

次に各会長にお願いしたことは、みんなで働くことである。今やロータリーは大企業病に陥っている。ごく一部の役員達だけが一生懸命働いて、大半の人達は単に例会に出席するだけの会員になってしまっているということである。そこで私は、「少しずつでもいいから、なるべく大勢の会員に仕事を割り当てていただきたい」とお願いした。

「地区や分区の会合には会長、幹事、委員長でなく、副会長でも委員の方でもいいから交替で出て下さい」とお話をした。

特定の人だけが働くロータリーでなく、みんなで少しずつでも働くロータリー——ドラッガー教授はみんなが働く会社がエクセレントカンパニーであると言っているが、私はエクセレントロータリーになってほしかったのである。それが「エンジョイ ロータリー」である。

'90.4.16 名古屋栄RC創立総会 クレストンホテル
感 想

ガバナーとしての一年を終えてまず第一に感じたことは約35年間のロータリー観は、ホームクラブを通じてのものであって、それはロータリーのある一部分に過ぎなかつたことである。名古屋RCは日本で三番目に古く創立以来65年を経ており、会員数も同じく三番目で約230名の大クラブである。またマークアップもほとんど名古屋か東京のクラブに限られているため、多少の差はあるもののクラ

ブの持つムードとしてはほとんど同じである。

ところがいざ公式訪問で色々なクラブに行ってみると、まず会場がホテルでないところが随分あることを知った。これらのクラブでは昼食のサービスに気を使う。なにしろ弁当の外注にはビジターの人数が問題になるからである。ビジターの予約を歓迎するということを聞いて、驚いた。SAAのご苦労が身にしみる。また毎回のスピーカー確保も大変。その他役員の方々のクラブ運営のご苦労は、数え上げれば限りはない。私はロータリーにも色々あるとつくづく感じた次第である。最後に楠地区会計長、水野地区幹事、青山・中村・佐治・鈴木の4地区副幹事、高橋地区監事をはじめガバナースタッフの皆さんに2年間ほんとうにお世話をかけた。この方々のパ



ックアップが、私にとって誠に大きな力となつたことを感謝している。また私が手抜きをしていたにもかかわらず、後に続くガバナーさん達の見事な手腕で十分カバーされ、わが地区は日本でも有数の模範地区になっていることをご承知いただきたい。



RI2760地区WCSフィリピン視察



井元地区国際奉仕委員長(フィリピンにて)

盛田ガバナー年度の思い出



地区幹事
水野喬樹
(名古屋)
1926年9月14日生
1970年3月
名古屋RC入会
1978~'79クラブ幹事
1989~'90地区幹事
シニアアクティブ
(革カバン卸)

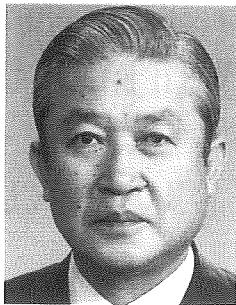
1989~'90年度盛田ガバナーのもとで地区幹事を務めた。以前盛田さんが名古屋クラブの会長をされたときクラブ幹事を引き受けたご縁で、ご指名を受けた。この年のRI会長のテーマが「ENJOY ROTARY」という事でガ

バナーも我が意を得たりとばかり張り切って活躍された。公式訪問にもよくお伴した。別に原稿を書いていかれるわけではないが、その時その場に適した軽妙な話題にはじまり、皆の目がスピーカーに集まった頃をみはからった様に本題に入り、楽しいロータリーについて説かれた。このスピーチを聞いてロータリーの良さを再認識した会員も多いと聞いている。この年1989年9月ハンガリー・チェコスロバキアを訪れ、発足したばかりのブタペストRCでメーキャップしてきた。日本へ帰った直後ベルリンの壁が崩壊した。思い出深い年であった。

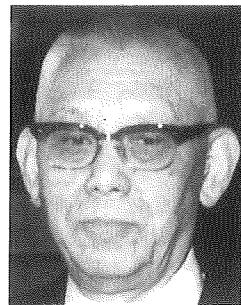
分区代理



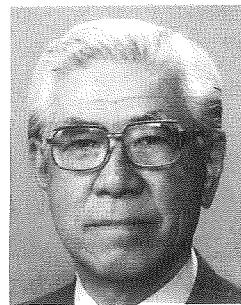
尾張第一分区
石井直一(常滑)



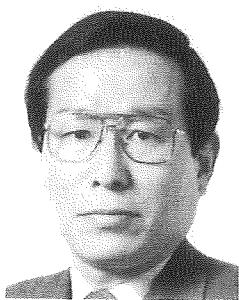
名古屋第一分区
加納 泉(名古屋中)



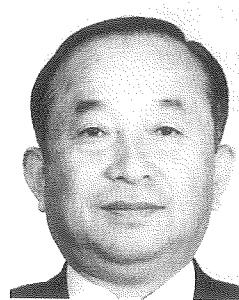
名古屋第二分区
小淵 連(名古屋守山)



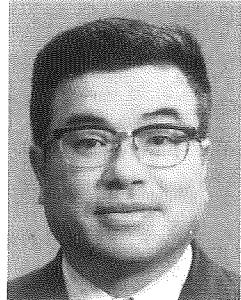
東尾張分区
天野正英(名古屋空港)



西尾張分区
横井永忠(あま)



三河第一分区
柴田 茂(豊橋南)

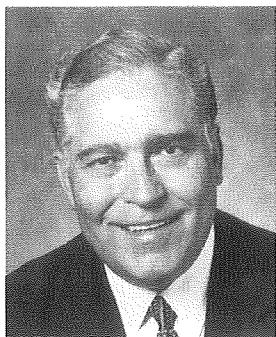


三河第二分区
神谷 治(高浜)

ガバナー事務局メンバー

地区幹事	水野 喬樹 (名古屋)	地区副幹事	佐治 守昭 (名古屋)	地区会計監事	高橋 正蔵 (名古屋)
地区副幹事	青山 正幸 (名古屋)	地区副幹事	鈴木 晴視 (名古屋)	事務局員	河合 久子
地区副幹事	中村 嘉孝 (名古屋)	地区会計長	楠 仙三 (名古屋)		

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第81回)	ポートランド (オレゴン州)	1990年 6月24日 ~27日	ヒューM.アーチャー (米国)		21,053名
地区大会	長島温泉 ホテル花水木	1990年 5月12日 ~14日	千 宗 室 (京都)	津 島	2,324名
	大会テーマ：「ロータリーを楽しもう」 パネルディスカッション：「女性の時代を考える」				
地区協議会	名古屋観光ホテル	1990年 6月10日	中村繁男 GN	名古屋和合	824名
期末の会員数・クラブ数		5,311名 · 64 RC			

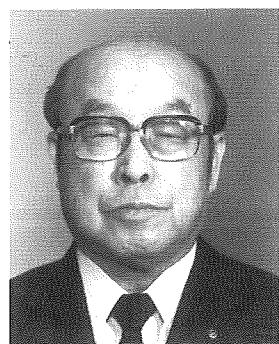


RI会長
パウロ V.C.
コスタ
(ブラジル)

RI会長方針

世界167の国々と地域、その24,500以上のクラブで活動する110万を超す義勇兵によって組織される特命「平和十字軍」あなたはその一員なのです。それだけではありません。ロータリーにおいてあなたは発見するでしょう。100万人に余る友人という隠れた財宝を、また奉仕をして、お役に立ち、あなたが受けた恩恵の、ほんのわずかをお返しするというすばらしい機会を…。

あなたは思いを尽くし力を尽くし熱意の限りを尽くして活動し、ロータリーの真価を高めることで、これに報いることができるのです。



ガバナー
故 中 村 繁 男
(岡崎南)
(代筆 宮本昌幸)

1923年11月7日生
1996年12月
岡崎南RC入会
1981~'82年
RI260地区幹事
シニアアクティブ
(雑貨輸出)

年度の方針及び活動内容と感想

ガバナー方針

今年度がRI第276地区として最終年度になった。次年度からは新しく第2760地区としての地区名称に変わることになる。

地区ガバナーは、担当地域内のロータリー

1990~'91年度RIのテーマ

HONOR ROTARY WITH FAITH AND ENTHUSIASM

ロータリーを高めよ
思いを尽くし熱意を尽くし

す。あなたはお分かりでしょう。ロータリーの偉大な潜在力が我々全員の団結力にかかっていることを。

ロータリー活動の価値に絶対の信頼を置いて下さい。何となればその活動は、現実を踏まえたものであり、善意の人々の無私の精神の結晶だからです。

ロータリーにあなたの熱意を燃やし続けて下さい。ロータリーは友情と融和を広め、あらゆる価値ある業務の品位を保ち、苦しみ悩む者の痛みを癒し、眞実と正義を守り、諸国民の心からなる理解と平和を推進する力強い運動なのです。

クラブと国際ロータリーのパイプ役のようなもので、とくにガバナーとしては、色々と目標はあるが、第一には、ロータリークラブの拡大と会員増強を主願において働きかけたいと思っている。

この一年間に最低でも5%位のロータリアンを増強することによって、その質が一段と高まるし、仲間を増やすことによって世界平和にも貢献できると言うことである。今年度国際ロータリーの会長であるパウロV.C.コスタ氏が「ロータリーを高めよう、思いを尽くし、熱意を尽くし」をテーマとし、サブテーマに環境保全を掲げている。この環境保全の一つとして、ロータリアン一人ひと



パウロV.C.・コスタRI会長夫妻と中村繁男ガバナー夫妻

りが一本の木を植えれば、世界にロータリアンが100万人はいるので百万本が植樹されることになる。

環境を守っていくうえで、是非取り組みたいと思っている。ガバナーの任務のうち、県内にある65のロータリークラブの公式訪問をし、各ロータリークラブの活動の実態を把握し、足らざるところは補い、優れた活動の広報に務め、少しでも地域社会に貢献できる活動の推進を図る考えである。

年度の主要事業とその成果

1991年6月26日付で、RIから中村ガバナー宛に下記内容による書簡が届いた。

会長賞目標達成を記念して、表彰状2通をお届けすることは欣快の至りです。

これらの賞に対する競争は大変激しいもので全項目に対し、1400件に及ぶ優秀事業の中から選ばれたものです。

パウロ・コスタ会長の意を体して選考委員会は、貴地区の2つの事業(WCS活動、ロータリー財団への貢献)を表彰することになりました。その栄誉をたたえ、お祝いの言葉を送らせて頂く次第です。

貴下のお仕事は「ロータリーを高めよー思いを尽くし熱意を尽くし」の会長テーマに沿う最高の努力の成果であります。

1. 世界社会奉仕活動実績報告

◎各国のWCSプロジェクトに対する活動
(タイ・比国の関係)

援助額 15,365,580円

◎各国の災害(被災者)への救援活動

救助額 9,196,000円

計 24,561,580円

2. ロータリー財団への貢献活動報告

◎財団寄付額1人100ドル運動の目標達成(世界第2位)

総寄付額 652,923ドル(1人平均 130ドル)



手に手つないで伊藤(RI会長代理)・中村両ご夫婦

3. クラブ拡大運動に関する報告

◎年度内における新クラブ設立状況は次の通り。(5クラブの設立は国内第1位)

田原パシフィックRC

創立～1990.7.24・認証～1990.8.20

一宮中央RC

創立～1990.10.31・認証～1990.11.16

刈谷知立RC

創立～1990.1.16・認証～1991.2.1

名古屋名南RC

創立～1991.2.19・認証～1991.3.8

名古屋名駅RC

創立～1991.4.3・認証～1991.4.17



'91.4.7 地区大会・職業奉仕功労者表彰

年度の感想

当年度活動のうち、私が当初方針の一つとして掲げてきたクラブ拡大と会員増強については、結果として5つのクラブ(別表ご参照)を誕生させることができた。これは国内30地区のうち首位の座を占める業績として讃えられた。

そのほか、コスタ会長から地区WCSとロータリー財団高額寄付の2つの活動成功に対し、RI会長賞を受賞することができた。地区内各クラブを代表する34名の使節団を派遣し、総額2,400万円に及ぶ金銭および文房具等を直接現地のロータリークラブへ渡していくという方式をとったゆきとどいたWCS活動は、辻兵吉PGの主催したWCSワークショップにおいても、高い評価を得ることができた。

中村ガバナー年度の思い出



地区幹事
宮本昌幸
(岡崎南)
1930年12月11日生
1974年2月岡崎南RC入会
1993~'94年 会長
1994~'96年
地区青少年活動委員長
シニアアクティブ
(飼料穀物販売)

ロータリーは、近代社会の中で意義ある位置を占める関係から、私たちの意見に耳を傾ける人々も少なくない。

世間から尊敬を集めていることも、ロータリーの事業活動が、それなりの評価を受けているからであると思う。

また、ロータリー財団の一般無条件寄付については、会員の皆様が私の要請に応えて頂き、お一人100米ドルの目標額を達成することができた。

その結果、世界第1位に手の届くところまで到達することができたのである。当地区では、その経済力においてひとつの国を越える程の評価を得ている割に、ロータリー活動は数字の上では、まだまだの感があった。当地区がこの水準を維持し、さらに発展を遂げることを望む次第である。「逝くものは斯くの如きか、昼夜を^おかず」ガバナー月信の第1号に、井上 靖氏の「孔子」から引用させて頂いた言葉であるが、ガバナー業務に追われて、この名著を十分読みこなせないうちに、作者も鬼籍に入られた。まことに斯くの如きか、と嘆くのみである。

「人間の太古から夢みている平和な社会の実現は、人間が造ってゆく人間の歴史の流れの中で、いつかは達成される」という孔子の夢は今日もなお私たちの夢である。

ロータリーのリーダーとして理想を実践するため、先頭に立って活躍する人たちにとっては、ことはそれほど簡単なものでないということである。私もガバナー補佐の仕事を通じ今までより幅広い目でロータリーをみつめることができた。

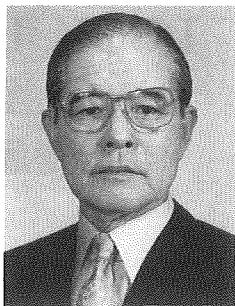
世界に広がるロータリーの秩序を、基本的な理想実現のため思慮深いリーダーの識見に改めて敬服する次第である。

ロータリーの活動が盛んになればなるほど、人間関係の接触も増し、互いに改善や進歩を図ることもできるのであるから、これらを信条とし、さらに一層の努力により貢献したいと思っている。

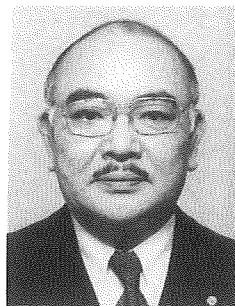
分区代理



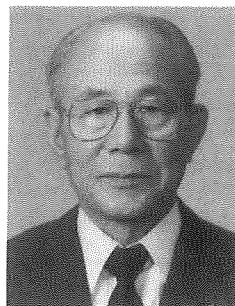
尾張第一分区
永井 進(知多)



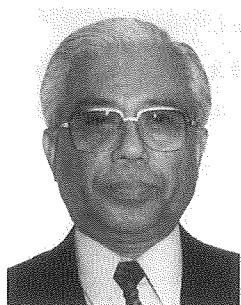
名古屋第一分区
嶺木一夫(名古屋瑞穂)



名古屋第二分区
岡本縁二(名古屋名東)



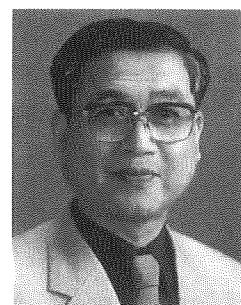
東尾張分区
青山鍵夫(瀬戸北)



西尾張分区
長谷川淳一(尾張中央)



三河第一分区
間瀬誠一(渥美)

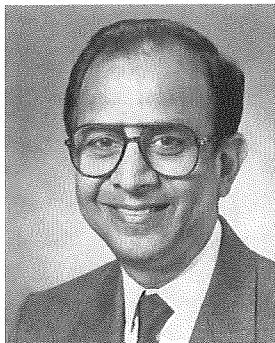


三河第二分区
市川裕士(刈谷)

ガバナー事務局のメンバー

地区幹事 宮本 昌幸 (岡崎南)	地区副幹事 牧 真 (岡崎南)	地区補佐 小野 修平 (岡崎南)
地区副幹事 中根 義郎 (岡崎南)	地区会計長 早川 弘三 (岡崎南)	
地区副幹事 都築 齊 (岡崎南)	地区会計監事 太田賢太郎 (岡崎)	事務局員 中村 民子
地区副幹事 大村 栄治 (岡崎南)	地区補佐 岡田 邦弘 (岡崎南)	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第82回)	メキシコ・シティー (メキシコ)	1991年 6月2日 ~ 5日	パウロ V.C. コスタ (ブラジル)		15,638名
地区大会	ホリデイ・イン豊橋	1991年 4月6日 ~ 8日	伊藤 義郎 (札幌)	豊川	2,564名
	大会テーマ : 「ロークリーを高めよ」 シンポジューム : 「はばたけ愛知県・D276」				
地区協議会	岡崎市民会館	1991年 5月26日	加納 泉 G.N.	岡崎東	856名
期末の会員数・クラブ数			5,698名	70RC	



RI会長
ラジェンドラ
K・サブー
(インド)

RI会長方針

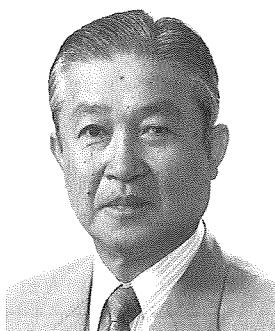
私達が、自分の心の底を深く見つめる時、私達は自分本位の考え方、言い草、行動という砦を抜け出して、自分を超えた世界に導く内なる力の存在に気がつくでしょう。あなたには自分を超えた眼を持つ大いなる力があるからです。人生において「自分」または「自分のもの」から「私達みんなの」という新しい視点への転換は、自分を超えて、あなたの

1991～'92年度RIのテーマ

LOOK BEYOND YOURSELF

自分を超えた眼を

家族、あなたのクラブ、あなたの地域社会、あなたの国、そして私達の世界へと眼を向けることによって、ロータリーの目標—他者への奉仕—が世に輝きあなたの配慮は崇高のものとなります。自分を超えた眼を持ったあなたは私達の大いなる理想—奉仕の理想を追求する力を得て、その付託に応えられるもので



ガバナー
加納 泉
(名古屋中)

1928年4月23日生
1970年1月
名古屋中RC入会
1982～'83年 会長
1989～'90年
名古屋第一分区代理
シニアアクティブ
(産婦人科医)

年度の方針及び活動内容と感想

ロータリーは各クラブが基本であります。会員に魅力あるクラブでなければなりません。楽しく、友情を深め、相互の信頼を高め、品位と風格を備え、出席することが嬉しいクラブでなければなりません。又、胸に手をあて反省してみた時、クラブに在籍している間に人間として、職業人として成長した事を自覚し、満足感を覚えるようなクラブでなければなりません。これらの条件が満たされれば自

ら奉仕の気持ちが生まれ、それが喜びとなるのではありませんか。

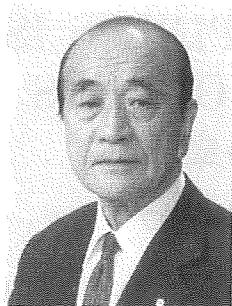
貴兄はロータリーの事を貴兄の奥様に、息子に、嫁に話されますか。

ロータリー財団が、米山奨学会が、何をしているかについて、家族にお話になった事がありますか。韓国・台湾・中国・ASEAN諸国から来日している優秀な留学生が月12万円の米山奨学会を受ける為の競争率が、4倍も5倍もの激戦である事について話し合ったことがありますか。どうかこの一年、是非貴兄の家族から、身近な職場の人々からロータリーのPropagandaを始めて下さい。

ロータリアンにとって最も大切なものは、それは貴兄の家族です。次に貴兄の職業です。ロータリーは、三番目に来る趣味やスポーツの中の最右翼に席を与えて下さい。

1992年は、規定審議会が、アナハイムで開

分区代理



尾張第一分区
中林大三(東海)



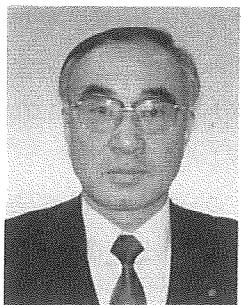
名古屋第一分区
天野道造(名古屋大須)



名古屋第二分区
伊藤 寛(名古屋東)



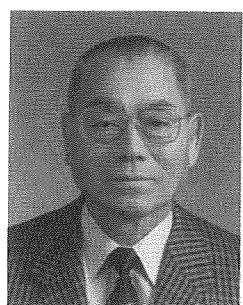
東尾張分区
大野義彦(岩倉)



西尾張分区
水野宏武(西春日井)



三河第一分区
三高 宏(奥三河)

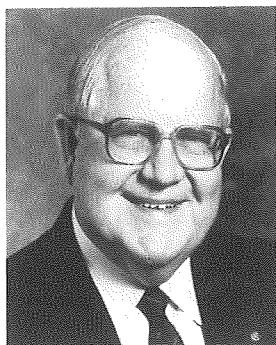


三河第二分区
丹羽猶次郎(豊田西)

ガバナー事務局のメンバー

地区幹事 故伊藤 浩二 (名古屋中)	地区副幹事 杉本 仁至 (名古屋中)	地区補佐 酒井 尊夫 (名古屋中)
地区副幹事 栗田 義郎 (名古屋中)	地区会計長 井上 文夫 (名古屋中)	地区補佐 山口 道夫 (名古屋中)
地区副幹事 大井 鉄史 (名古屋中)	地区会計監事 久能木真人 (名古屋中)	事務局員 河合 久子
地区副幹事 沢井 孝郎 (名古屋中)		

会 合	場 所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第83回)	オーランド (フロリダ州)	1992年 6月14日 ~17日	ラジェンドラ K・サブー (インド)		19,111名
地区大会	名古屋観光ホテル 名古屋国際会議場	1992年 6月 6 日 ~ 7 日	安 部 豊 任 (甲府北)	名古屋港	2,563名
	大会テーマ : 記念講演 :	歴史がある、未来がある、感動がある!! 「これからの日本の歩く道」ソニー(㈱)会長 盛田 昭夫			
地区協議会	ホテルナゴヤキヤッスル	1992年 5月8日~9日	神 戸 政 治 G N	尾 西	1,090名
期末の会員数・クラブ数		5,862名 · 72RC			



RI会長
クリフォード
L.ダクターマン
(米国)

RI会長方針

個人的な喜びや満足感と幸福を求めるることは万人共通の目標です。真のロータリアンとは、他人に奉仕し、人助けをすることによって得られる大きな満足感と尽きせぬ果報を見た人達です。

心の奥でそう思い乍ら、あまり口に出しては云いませんがロータリアンは良く知っています。大義の要請に動かされて止むに止まらず、その目的達成のため、人生の大半を捧げた人こそ世界で最も幸福な人の1人であることを。「まことの幸福は人助けから」ということをロータリアンは発見します。



ガバナー
神戸 政治
(あま)

1930年6月15日生
1970年7月6日
あまRC入会
1975~'76年 幹事
1985~'86年 会長
シニアアクティブ
(電気機械配布)

年度の方針及び活動内容と感想

RI会長テーマ REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS で始まった年度、私達の地区の目標は「バランスの良くとれたロータリープログラムの推進」とした。

ダクターマン会長は新しいプログラムの提

1992~'93年度RIのテーマ

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS まことの幸福は 人助けから

ロータリーの理想の真髄は、何ら個人的見返りを求めることなく、進んで他人に援助の手を差しのべることです。他人のために役立つように、自分がこの世の務めを終わった後まで永続するような目的のために、惜しみなく自分の時間と労力と財力を捧げるときに最高の幸福感を我々は得ることが出来ます。

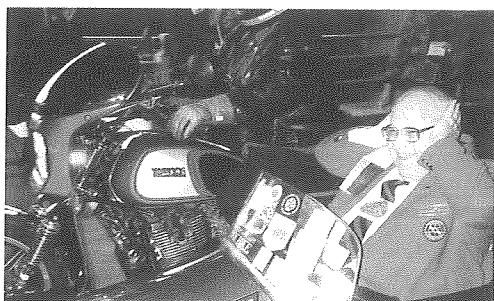
助けを求める人にはほんの一寸親切にしてあげるだけで、何度も皆さんの人生が高められることでしょう。人々に奉仕するために肩を組んで力を合わせる時、どれ程親密な友情がはぐくまれることでしょう。

唱はされず、従来のプログラムを一層強力に推進するよう要請があり、各クラブに対し指定のプログラムを実行した場合、RI会長賞が贈られることになった。

総てのロータリアンに共通の重点プログラムとは、(1)天体地球の保全 (2)飢餓の救済 (3)高齢者への思いやり (4)青少年への関心 (5)薬物濫用の問題 (6)識字率の向上 (7)世界社会奉仕 (8)親善と平和の推進 であり、四つの奉仕部門毎にバランス良く計画し実行願った。その結果、当地区72クラブのうち59クラブがRI会長賞を獲得、分区内全クラブが受賞されたのは名古屋第一分区、名古屋第二分区、西尾張分区の3分区で心より

り敬意と感謝を申しあげる。

ダクターマン会長について、彼のスピーチの中で私の心を強く打ったことが2つある。1つはカンサスシティー(米国)の国際協議会で行なった演説の中で次の様に質問された。「皆様におたずねします。あなたには助けを求める叫び声が聞こえますか? あなたには子供達がおなかをすかして泣いているのが聞こえますか? あなたは痛みに泣き叫ぶのが聞こえますか? あなたには読み書きの出来ない人々の閉ざされた声が聞こえますか? あなたは愛と保護にこがれてすり泣くのが聞こえますか? あなたには貧困によるべのない人々のうつろな呟きが聞こえますか? あなたにはアルコール、薬物濫用など絶望の網の巣から逃れられない人々の苦悶の表情がお分かりですか? あなたは平和を夢みる人々の押し消された声が聞こえますか? 平和のない声が…。これ等は全部助けを呼ぶ現実です。私達の同胞からの呼び声です。まことの幸福は人助けから、と思う方達への呼び掛けです。」と結んだ。



1992~'93 RI会長 ダクターマン(メルボルン国際大会で)

もう一つ、ダクターマン会長はメルボルン国際大会で、この大会を楽しむ為に10項目の実行を勧めた。「大会SAA、ホスト委員会のメンバー、食堂の親切な給仕役の人、大会のスポンサーとなって下さっている人、皆さんをホテルへお送りするバスの運転手さんなどに

感謝の言葉を述べて下さい。」実行のテーマを掲げたRI会長の心くばりが大変良く表現されていると今でも心に残っている。また1997年10月札幌で行われたロータリー研究会には夫人共々出席され一夜楽しく会食した。



地区協スタッフ、加納ガバナーと共に (ナゴヤキャッスル)

1992~'93年度地区行事の中から2~3件印象深いものを挙げてみると、PETS、地区協、地区大会、第1回RYLAなどがある。PETSは短い時間で準備してくれたノミニー事務所のスタッフ一同と、ホームクラブ会員全部に感謝の言葉しかない。地区協のホストクラブの尾西RC、地区大会のホストクラブの瀬戸RCに対しては、現在でも個人的には親戚のクラブという気持ちでいる。

RYLAについて少し詳しく述べてみると、1993年3月14日(日)、岡崎信用金庫本店と岡崎市大樹寺に於てホストクラブ岡崎東RCで開催された。午前中は井沢元彦氏の講演、午後は大樹寺の見学と岡崎市史編集事務局長の岩月栄治氏の解説による勉強会、墓所参拝が行なわれ、その後本堂内で閉会式を行なった。出席者総数215名夫々が深い感銘を受けた。1990~'91年度ガバナー故中村繁男さんの熱心な提唱により、ライラ研究委員会が発足し当年度にやっと第1回の実現をみたもので、その後委員並びに関係各位の熱心なご努力により毎年盛大に開催されており、きっと故中村PDGも喜んでおられることと思う。



当地区第1回のライラ 岡崎市に於て

国際的な会議としては6月11日～12日、米国テネシー州オークリッジ市に於て日米ロータリアン親善会議が開催され、私は加納直前ガバナー、光岡会計長と3名で出席、他に当地区より盛田PDG、水野・楠さん(名古屋RC)堀田さん(名古屋北RC)花井さん(東知多RC)の皆さんも夫々出席された。会議は2日間にわたり盛田PDGがパネリストを務められ、私もWORKSHOPS SESSION、GROUP BのASSISTANT MODERATORでしたがMODERATORのT.D.GRILEY氏(RI理事)は急用が出来て退席、代わりの

RICHARDS LAGER 氏が、自分は何も判らないので私に全部やってくれと云われ当惑した想い出がある。何とか所定のプログラムを終了したが、それが縁でMR.RICHARDと大変親しくなり毎年の国際大会では旧交を温めている。その後彼はRI理事となり1995～'96年度はRI副会長を務めた。

帰路、私達3名はアトランタに立寄り、ホシザキUSAの工場見学をさせてもらった。大変立派なホシザキ山荘にもご案内いただき感激して帰国した。

年度の感想の最後に今は亡き近藤PDG、大隅PDGの言葉を申しあげたいと思う。「ガバナーは会社が大きいとか金儲けが上手とかで推薦すべき人ではない。如何にガバナーとして1年間、ロータリーの為に奉仕してくれるかで判断推薦すべきだ。」

「ロータリーには変えて良い事と絶対変えてはいけない事が有る。」

神戸ガバナー年度の思い出



地区幹事
鈴木 孝則
(あま)
1942年11月17日生
1974年4月8日 あまRC入会
1977～'78年 国際奉仕委員長
1985～'86年 幹事
シニアアクティブ
(菓子製造)

「あまRCからはじめてガバナーが選出される。」ということで我がクラブは大変盛り上がった。私は第24代の会長にノミネートされていたが、結局それを辞退して地区幹事を拝命した。

ロータリーの役目は不思議なもので、仰せ付かったとき、担っているとき、そして終わ

って回顧するとき、それぞれ全く違った感想がある。自分の力不足からの戸惑い、否応なしにくる役目に夢中に対応、今は回顧して赤面、これらが率直なところである。

しかし、ロータリーの伝統というか、善意に満ちた友情の力が結集されて初体験であってそれなりに格好をつけてもらえたということ、私にとって深い感謝と大きな喜びを感じている。

多くの魅力ある方々との出会い、各所で過分のおもてなしをしていただいたこと、そして何よりも、自分自身で貴重な勉強ができたこと等大変有意義であった。

もし、少しでも役目として貢献ができるれば今はハッピーだ。

分区代理



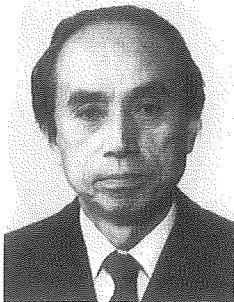
尾張第一分区
花井文雄(東知多)



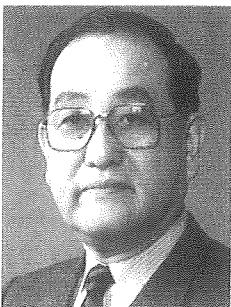
名古屋第一分区
林 光雄(名古屋西)



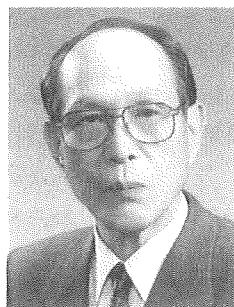
名古屋第二分区
日比榮一(名古屋北)



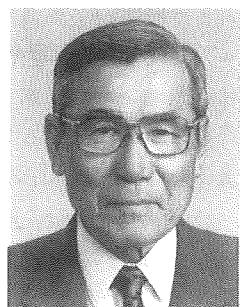
東尾張分区
長谷川二郎(豊山・城北)



西尾張分区
山本鐵彦(津島)



三河第一分区
荻野 修(新城)



三河第二分区
服部國男(岡崎)

ガバナー事務局メンバー

地区幹事 鈴木 孝則 (あま)	地区副幹事 上野山 通 (あま)	地区補佐 稲垣 孝憲 (あま)
地区副幹事 熊沢 登 (あま)	地区会計長 光岡 朗 (あま)	事務局員 河合 久子
地区副幹事 伊藤 英毅 (あま)	地区会計監事 大竹 和美 (あま)	事務局員 後藤 昌子
地区副幹事 堀江 承元 (あま)	地区補佐 後藤袈裟美 (あま)	

会 合	場 所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第84回)	メルボルン (オーストラリア)	1993年 5月23日 ~26日	クリフォード L.ダクターマン (米国)		22,083名
地区大会	ホテルナゴヤキャッスル 瀬戸市体育館	1992年 11月22日 ~24日	吉田 盛次 (東京西)	瀬戸	2,878名
	大会テーマ : 「ロー・タリアンの親交を深めよう」 記念講演 : 青山学院大学教授・寺谷 弘士 氏				
地区協議会	ホテル・ホリデイイン豊橋	1993年 5月8日	宮地 信尚 G.N.	豊橋北	1,177名
期末の会員数・クラブ数			5,975名	72RC	



RI会長
ロバート R.
バース
(スイス)

RI会長方針

あなたは、あなたの力を最も必要としている人々に影響を与えることができます。ロータリー財団のベネファクターになることによって、恒久的な影響を与えることができます。私は確信いたします：行動に信念を一信念は行動に一それによって、何か最高の満足感があなたにもたらされることを。

ロータリアンは、私達の将来が青少年の肩にかかっていると信じます。本年度あなたの信念を次のことによって実行して下さい：すべての子供達の健康管理と衛生的生活に配慮すること・地域の青少年に実際的職業技能を身に付けさせること・あなたの知っている青

1993～'94年度RIのテーマ

BELIEVE IN WHAT YOU DO DO WHAT YOU BELIEVE IN 行動に信念を 信念は行動に

少年の指導力を伸ばすこと。

ロータリアンは、教育が基本的要請であることを信じます。本年度、あなたの信念を次のことによって実行して下さい：青少年を励まし、勉強を続けて学力を高めさせること・識字率の向上に積極的役割を果たすこと・今日の世界で必要な職業技能をすべての年齢層の人々が身に付けられるよう再訓練すること

ロータリアンは、国際理解と平和の増進を祈念しています。本年度、あなたの信念を次のことによって実行して下さい：自分と違う他の文化に理解を示すこと・交換プログラム、または国際規模の合同プロジェクトを提唱すること・人道的補助金プロジェクトに参加すること。



ガバナー
宮地 信尚
(豊川)
1922年3月4日生
1967年1月
豊川RC入会
1980～'81年 会長
1982～'83年
三河第一分区代理
シニアアクティブ
(整形外科医)

年度の方針及び活動内容と感想

バース会長は、「100万を超すロータリアンが、ロータリーの徽章に導かれ、信念を持って行動するボランティア・サービスという伝統の力に励まされ、新しい世紀の明目に向かって前進している。世界中に知られている歯

車の徽章で一つに結ばれています。このトレードマークとは会社や団体の真髄を表現するもので、世界中で誰もが認めてくれるような独自の優秀性を示すものとして、極上の製品、高度の理想に対する公約、友好的なサービスを期待出来るものと思われています。

このような期待は、自らの信念に忠実な男女の懸命な努力があればこそです。

私達の徽章は、傑出した職業人というだけでなく、さらに優れた品性、知性豊かな心を意味しております。

ロータリーの歯車を見た人々は、ロータリアンが個人的にも、また職務においても、奉仕に務める人であることを思い起してくれる



会長エレクト研修セミナー

ロータリアンは、いつでも、他の人々を公正に遇しており、必要なときに、超我の奉仕を期待するようになるでしょう。ロータリーのシンボルとして私達の歯車は、何よりもまず優れた品性の象徴であり、私達のトレードマークの信用は、一にかつて、ロータリーに捧げる私達の努力と献身であると説かれております。』

親睦と奉仕で結ばれたロータリーライフは、自分が世の中に捧げる有意義で価値ある何かを持っていて、人に分かち合わせようという思いやりが必要である。

援助を待つ人を助けたいという愛情で信念をもって行動すれば、最初は克服できそうもないように見える問題も、創意をこらして解決できるようになるでしょう。又希望を失った人々にも夢を与えようと手を差しのべることにより、私達の奉仕の基礎は私達の夢からなりたっており、どんな夢が一番すばらしいだろうか、心から信ずるところに従って行動を起せば、夢見た目的も現実のものとなり、困難を極めた障害も乗り越えられます。

人類の最も驚嘆すべき業績は、夢を実行に移した人々によって実現されます。

私達の奉仕の証は、行動によって明らかにされます。あなたの格別優れた才能を使って、周囲の人々に深甚な影響を与えるために、自分の行動に信念をもって行動し、自分の限界

を越えて前進し、本当に他の人の求めに応じて奉仕できる活力を見いだすように努力しましょう。

このようにバースRI会長は、スイスのアラウRCの会員であり、清涼飲料水の製造会長の会長さんであり、国際ロータリーの種々の役職を務められており、私と同年令でもあり、非常に温厚であり、全ロータリアンを奉仕の理想の実践者であり、努力しておられることを固く信じておられた。

バブルの崩壊による不況が始まっており、私の努力も足らなかったため、会員増強も拡大もあてがはずれ、一つのクラブも拡大することが出来ず、剩さえ名古屋港クラブ、安城クラブには大変迷惑をかけてしまった。

会員増強も前期、後期共に100名づつの増強をお願いしたが、退会者が多く、8月には会員数6,000名の大台に乗れると思っていたが、期待はずれで、地区大会には記念品を差し上げられるかと思っていたが、それも駄目で、11月末にやっと増強出来たので、安城クラブの都築君に記念品を差し上げることが出



1993~'94年度国際ロータリー第2760地区地区大会
來た。結局、一年を通じ、63名の増強にとど
まった。

各クラブの会長・幹事さんのご努力にかかわらず甲斐ない結果になってしまい、中村年
度、加納年度とは格段の差となってしまった。

地区大会は、故中村PGのお口添えで、岡崎

南クラブがホストクラブ、岡崎城南クラブが、コホストクラブをやって頂くこととなつたが、会長代理として韓国の晋州市の金一PGが決定通知があったため、9月上旬に表敬訪問をした。金一PGは、非常に立派な方であり、日本語も大変上手で、全てに渡り連絡を密にして頂いたため、大会を盛大に挙行することが出来た。ホストクラブの皆様並びに金一会長代理ご夫妻に感謝しております。



半田RCC結成認証状伝達式

バース会長は、ロータリアンは皆さん立派な方々であり、特別なプログラムは作る必要はなく、今迄やって来たことを充実して下さればとのことであったが46クラブが会長賞に応

募し、全クラブが会長賞を頂くことが出来た。

当地区は実に優秀なクラブばかりであり、奉仕活動をよくやって下さった。

特に青少年活動には東知多クラブの提唱で阿久比高校IACが結成され、又半田クラブが、半田ロータリー地域共同隊(RCC)を提唱され、小・中学校の生徒児童の不登校防止を主目的として、青少年の健全な育成をはかる活動をされており、次いでライラ研修会は前年度について、第2回目でありながら、一泊研修の本格的研修を春日井RCがホストとして、開催され、多くの参加青少年に深い感銘を与え、以後のライラ研修の道を拓いて下さった。

その他、国際奉仕、青少年交換、世界社会奉仕、ロータリー財団、米山奨学会等々どれをとっても他に引けをとらない立派なものであり、こんな立派な地区のガバナーをやらせて頂き、地区内のロータリアンの皆様に感謝する次第である。

宮地ガバナー年度の思い出



地区幹事
杉原 彦三郎
(豊川)

1928年3月25日生
1980年7月豊川RC入会
1986~'87年 会長
シニアアクティブ
(特殊鋼工具製造)

振り返ってみると長いようで短い二年間であった。地区幹事の役目について手続要覧を見ると「ロータリーに精通し且つ地区会合の経験も豊富なロータリアン…」として反省してみると適任者であったか疑問である。しかし宮地ガバナーの温厚な人柄と上手なリードに支えら

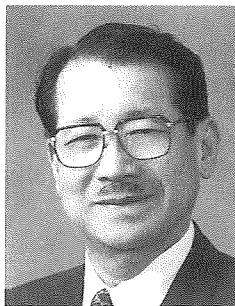
れてその責務を遂行できた。

宮地ガバナーの補助者として、各クラブへの公式訪問、地区のIM、諮問委員会その他多くの行事に参加させていただき、ロータリー活動の実践、多くの人の出会いを通じてよい体験をさせていただいたことに感謝している。

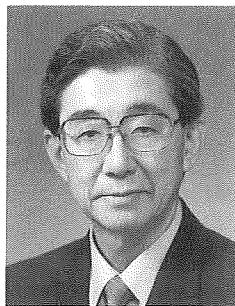
宮地GNの就任を機会にメルボルン国際大会、台北国際大会へ豊川クラブの会員・家族と一緒に親睦を兼ねた楽しい旅行もよい思い出のひとつである。

最後になったが鈴木直前幹事、スタッフの皆様、地区協議会、地区大会、ホストクラブの会長、実行委員長の皆様に大変お世話になったことは忘れることが出来ない。誠に有難くお礼を申し上げる。

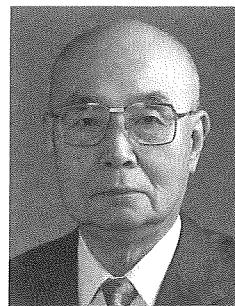
分区代理



尾張第一分区
松本 宏(半田)



名古屋第一分区
林永治郎(名古屋)



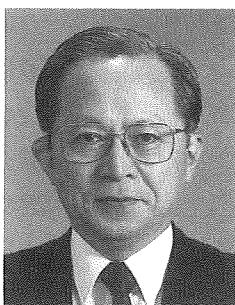
名古屋第二分区
吉村卯一郎(名古屋名北)



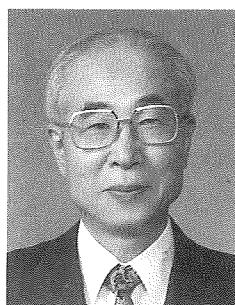
東尾張分区
山内鑑平(瀬戸)



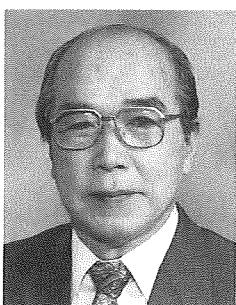
西尾張分区
荻本鉄夫(一宮北)



東三河分区
石川顕次(豊橋北)



西三河第一分区
成田敏闇(岡崎東)

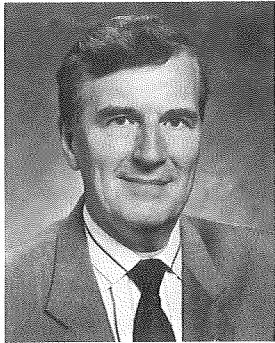


西三河第二分区
杉浦義夫(西尾)

ガバナー事務局メンバー

地区幹事 杉原彦三郎 (豊川)	地区副幹事 陶山 嘉伸 (豊川)	地区補佐 渡辺 秀夫 (豊川)
地区副幹事 石黒 担史 (豊川)	地区会計長 山口 修一 (豊川)	地区補佐 古川 庄三 (豊川)
地区副幹事 小沢 行雄 (豊川)	地区会計監事 竹内 邦弘 (豊川)	地区補佐 鈴木 敬吾 (豊川)
地区副幹事 真野 宏敏 (豊川)	地区補佐 久具 昭夫 (豊川)	事務局員 渡辺 利恵

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第85回)	中華民国 台灣台北市	1994年 6月12日 ~15日	ロバートR. バース (スイス)		31,161名
地区大会	岡崎市総合体育館	1993年 11月6日 ~8日	金 一 (KIM IL) (韓国)	岡崎南	2,868名
	大会テーマ : 「結ぼう友情の輪・深めよう地球愛」 記念講演 : 「日米関係について」元駐米大使 大河原良雄氏				
地区協議会	INAX	1994年 5月8日	蜂谷 弘道 GN	常滑	1,237名
期末の会員数・クラブ数		6,026名 · 72RC			



RI会長
ビル H.
ハントレー
(英国)

RI会長方針

- ・地元や職場で友達になろう
- ・地域の人々と友達になろう
- ・遠く離れた人々と友達になろう

私達は誰もが貢献を、又地域社会の発展に尽くすよう求められている。では、どんな心構えでこの帰属意識を養い、人々により良い生活の機会を開いてあげられるのだろうか？私の答えは簡単である。勇気と品性に訴えるのみ、「友達になろう」と。

私達ロータリアンは奉仕活動によって人権尊重を一人ひとりの生活尊重にまで転化しなければならない。個人を尊重することが、す

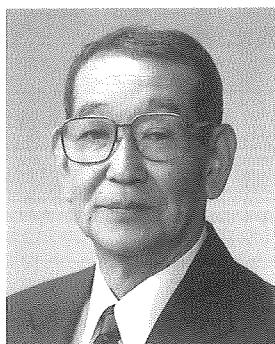
1994～'95年度RIのテーマ

BE A FRIEND 友達になろう

なわち、地域社会に貢献する道である。

心からなる思いやりをもって友達同士集い合い、喜び、悲しみ、慰めを共にするとき、友達同士肩を寄せれば、そこにコミュニティーが生まれる。友達は、希望を支え、信念を高め、身をもって愛を実践する。私達のロータリー社会は、責務を引き受けるために存在する。だから、私達は持てる力のすべてを發揮しなければならない。

いざ友よ、高き志あれ。活力あれ。優しき心あれ。人皆すべて…待つ人々と、憧れ慕う人々と、苦しみ悩む人々と「友達になろう」。



ガバナー
蜂 谷 弘 道
(名古屋和合)
1928年5月16日生
1972年3月
名古屋和合RC入会
1981～'82年 会長
1982～'83年 会長
1988～'89年
名古屋第二分区代理
シニアアクティブ
(専門病院)

年度の方針及び活動内容と感想

1994～'95年度をあらゆる人々に思い起こさせるのは、その年度半ばに勃発し、いまだに地域をはじめとする方々の心身に大きな傷痕を残している阪神淡路大震災であろう。この不幸な出来事は、ビル H. ハントレー

RI会長エレクトが、奇しくも震災半年前の国際協議会において、「BE A FRIEND」をテーマとして提唱し、そのなかで「『まさかのとき』にロータリアンは立ち上がり、心を尽くして対応する」と明言された通りに、世界のロータリアンの役割と使命を喚起させ、その善意は被災者への援助の手となり、復興への勇気を与え、「BE A FRIEND」のスピリットを実証することとなった。

〈活動の二本柱—「環境保全」「青少年活動」〉
心と心のふれあい、交わりがあってこそ友達である。この根から辿れば、人類愛、自然愛、さらに地球愛へと自ずと枝葉となってひろがっていく。



地区大会へご臨席のナカムラ大統領閣下

RI第2760地区のこの年度の重点施策として、環境保全活動、青少年活動を挙げ、これらをさらにパワーアップして推進させることとした。あまりにも大きく遠大な地球サイズのテーゼを、先ず、我々の出来ることから、我々の足下から始めようではないか。

その具体的施策として、環境保全には、パラオ共和国へのソーラーシステム100基の設置、豊田4 RCによる、豊田市立西広瀬小学校児童による矢作川水質調査への努力と成果を賛える大壁画建造、豊川宝飯RCの三河湾伊勢湾浄化運動への啓蒙があった。

また、青少年活動では、地区内のIAC、RACに対する理解を浸透させると共に、両クラブの新規設立によって組織の充実化を図り、青少年の奉仕活動を一層活発に促進した。
〈パラオ共和国にソーラーの灯、100基寄贈〉
フィリピン東方の太平洋上に浮かぶパラオ諸島。200以上の島々よりなり、そのうち8島に、約15,000人の島民が住むベラウ共和国(1994年10月1日、パラオ共和国として独立)。その中のガラスマオは電力を持たず、生活改善の基盤である発電設備を永年待ち望んでいた。

この年度の指針である環境保全を踏まえ、地球の汚濁、温暖化防止に理想的なクリーンエネルギーのソーラーシステム100基の寄贈を、地区64RCの支援とメイクアップニコボ

ックス資金により達成することが出来た。これに対し、パラオ共和国のクニオ・ナカムラ大統領より丁重なるお礼と親善の交換があり、同国とRI2760地区は、ソーラーの灯を通じて強い絆で結ばれることになった。地区大会では大統領ご夫妻歓迎の式典が開かれ、親交を深めた。

〈地区に2IACと1RACが誕生〉

1994~'95年度は、特に地球環境保全を掲げ、私達の子供、孫、未来へ続く人類の子々孫々のために、ロータリアンの真心を通して力を尽くしたいと考え、努めた。これを受け継ぎ、拡大していくのは、若い世代の青少年である。

今、私達がしなければならないのは、このような人間の真心を培う土壤づくりであろう。それがIAC、RACである。さまざまな社会奉仕活動や国際理解、交流等を展開しているが、この年度初めの7月に地区IAC協議会が「ボランティアを考える」をテーマに500名が集い、また、11月には地区RAC協議会が「私たちの提案」～アクト活動の問題点に



名古屋名城ローターアクト創立総会

について考え、今後の活動に役立てよう～をテーマに、分科会でも活発な問題提起と意見交換が繰りひろげられた。

地区IAC及びRACのこの年度に特記すべき事柄は、愛知県千種高等学校と名古屋短大付属高校のふたつのIACと、名古屋名城RACの

誕生である。名古屋名城RACは、ロータリー一年度終了まであと数時間を使い残すのみという、6月30日午後7時の劇的創設であった。

〈新クラブ「名古屋西南RC」創立〉

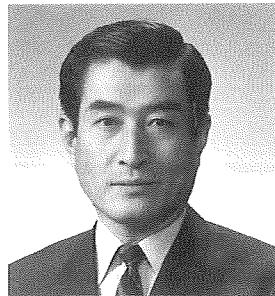
久しぶりに当地区に新しいクラブが生まれた。第2760地区としては73番目、名古屋第一分区で12番目の名古屋西南RCである。

1995年3月9日、名古屋クレストンホテルにおいて、スponサークラブの名古屋港RC創立30周年に当たり設立された。チャーターメンバー41名。地区内でも数少ない女性会員4名が含まれ、期待を集めた。

〈MAKE-UPニコボックスによる資金活用〉

地区に新しい風を。時代の変遷やニーズに対応して、ロータリークラブも時代にマッチした体質、制度づくりをしなければならない。このような見地から、この年度に初めて採用したのが、「MAKE-UPニコボックス」である。例会変更時のサインのみのマイクアップでは、駐車問題や、マイクアップの受付、連絡等について数々の支障と少なからざる費用と労力がかかる。これを改善するために、奉仕の気持ちの淨財を集め、クラブ費用や活動資金に役立てようというものであった。

蜂谷ガバナー年度の思い出



地区幹事
森 武 保
(名古屋和合)
1937年6月29日生
1982年4月
名古屋和合RC入会
1992~'93年 幹事
1997~'98年
地区資金委員長
シニアアクティブ
(カメラ及び写真器具)

蜂谷ガバナーを表現すれば、青年のような情熱と、素早い決断力の持主といえる。年度スタート前より、ガバナースタッフ10名で準備を始めたが、このガバナーの人柄にほれ、年度終了までフル回転で動いた3年間であった。小生が入会した折の会長であった蜂谷さ

1994~'95年度のマイクアップニコボックス資金は、実に2200万円にのぼり、パラオ共和国へのソーラーシステム補助金をはじめ、環境保全、青少年活動、米山記念館への寄付等有意義且つ有効に活用できた。

〈ロータリアンとして想うこと〉

一年は歩めば遠く、振り返れば早い。無我夢中の1994~'95年度ではあったが、ガバナー活動のすべてが、地区ロータリアンの一一致団結と協力を礎として達成されることを再確認した。

例えば、1995年1月17日早朝の阪神淡路大震災における同日の緊急義援金の決定も、その結果として寄付金トータル5000万円の巨費も、地区内RCの積極的協力なしには決して実現できなかつたであろう。「ひとが困っている時こそ、ひとに尽くす」ロータリー本来の姿をここに感じ、会員の尊い心に深く感銘を受けた。

たくさんのロータリアンの真心に支えられ、力一杯活動できたことを感謝し、この貴重な経験を、ロータリアンとしての今後の活動に生かしたいと思う。

んが、ガバナーになられるとは、又その折の地区幹事をお引受けすることになろうとは、当時は夢にも考えていなかった。

幸いにも、ベテランの会員よりなるガバナースタッフの皆様のお力添えで、和気合々の内に無事大任を果たすことが出来、感謝と感激の想いでいっぱいである。

又、台北とニースの世界大会への参加、パラオでナカムラ大統領はじめ政府要人の皆様から大歓迎を受けたこと、県内各地を巡り、数多くの方々と知己を得たことなど、楽しい想出がいっぱいの人生の貴重な一駒でもあった。いたらぬ小生をご指導賜りました皆々様に厚く御礼申し上げる次第である。

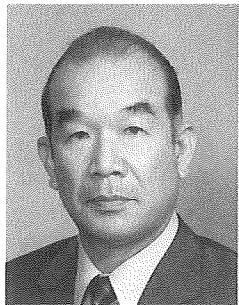
分区代理



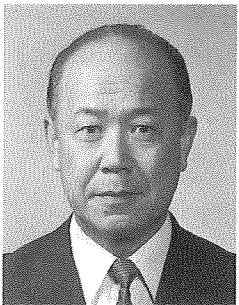
尾張第一分区
清水良三(半田南)



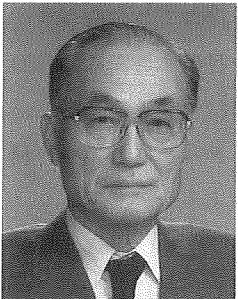
名古屋第一分区
朽木義一(名古屋南)



名古屋第二分区
大谷和雄(名古屋千種)



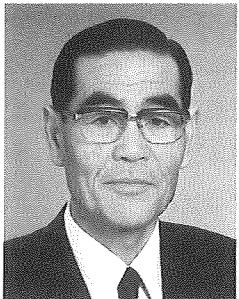
東尾張分区
平林米司(犬山)



西尾張分区
林 恵(稻沢)



東三河分区
梅村 東(豊橋ゴールデン)



西三河第一分区
加藤喜作(豊田)

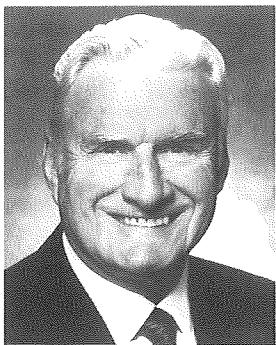


西三河第二分区
太田昭夫(安城)

バガナー事務局メンバー

地区幹事	森 武保 (名古屋和合)	地区副幹事	尾関 和成 (名古屋和合)	事務局員	河合 久子
地区副幹事	堀田 日夫 (名古屋和合)	地区会計長	外村 孝 (名古屋和合)	事務局員	田村真由美
地区副幹事	服部 和史 (名古屋和合)	地区会計監事	上村 晋也 (名古屋和合)	事務局員	西尾 紀子
地区副幹事	安井 隆豊 (名古屋和合)	地区補佐	春日 文明 (名古屋和合)		
地区副幹事	林 薫 (名古屋和合)	地区補佐	柏木 順壱 (名古屋和合)		

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第86回)	ニース (フランス)	1995年 6月11日 ~14日	ビル H. ハントレー (英国)		34,077名
地区大会	ホテルナゴヤキャッスル	1994年 10月29日 ~31日	松本卓臣 (福山)	名古屋守山	2,324名
	大会テーマ : 「人・自然・未来の調和を大切に」				
	記念講演 : 「運を育てる」日本将棋連盟棋士 永世棋聖 米長邦雄氏				
地区協議会	ホテルナゴヤキャッスル	1995年 5月20日	石川和昌 GN	名古屋東南	1,395名
期末の会員数・クラブ数			6,087名	73RC	

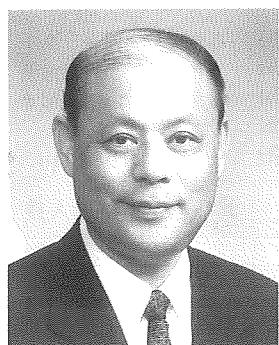


RI会長
ハーバート G.
ブラウン
(米国)

RI会長方針

今年度RIのテーマ「真心の行動」「慈愛の奉仕」「平和に挺身」を支持する方法として会員増強、ポリオ・プラス、4大奉仕の各分野で均衡のとれた奉仕に挑戦して下さい。

会長からのこの挑戦を通じ、クラブは恵まれない人々のニーズに応え、真心の行動に乗り出すことを督励し、クラブ内のロータリー精神を高揚し、地域社会でロータリーのイメージを高めるロータリー奉仕の意義を示す事が出来ます。



ガバナー
石川 和昌
(豊橋)

1932年4月2日生
1961年2月
豊橋RC入会
1979~'80年 会長
1988~'89年 地区幹事
シニアアクティブ
(貨物自動車輸送)

年度の方針及び活動内容と感想

1995年2月、アナハイムの国際協議会で示されたRIのテーマは「真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身」と一見難解だったが各フレーズは動詞で始まり行動を促すものだった。「真心の行動」はその実践者であるロータリアンを増強して組織強化を計る事、会員増強が最優先事項だった。ロータリーを維持、発

1995~'96年度RIのテーマ

ACT WITH INTEGRITY SERVE WITH LOVE WORK FOR PEACE

真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

真心、慈愛、奉仕、平和の理想を鼓吹する上台となる4大奉仕部門に加え、ポリオ・プラス、会員増強に重点を置くことにより今年のテーマが特別な意義を持つことになります。ロータリー運動の推進を目指すこれらの各分野に参加し、挑戦する事は単なる競争でなく、皆様並びにクラブがロータリー奉仕の真の精神を發揮する機会を提供するものです。

全クラブがRIテーマの強力な支持と行動により、今年度、史上最高の年度となることを確信しております。

展示させる為、改めて会員増強の必要性を認識した。当地区では会員増強はもとよりクラブ拡大も到底無理と考えたが、この要請に応えるべく公式訪問等諸会合を通じ、若い人々や女性の入会を奨励し、新クラブ結成についても可能性を求め、実現に努力した。

次いで「慈愛の奉仕」ではポリオ根絶を取り上げ、最後の勝利を目指して戦おうと宣言された。ポリオ撲滅プログラムはWHOと連携の基に世界のロータリアンが協力し、1988年のフィラデルフィア国際大会で盛大に基金目標達成のパーティーが開催された事は記憶に新しい。7年後の今日、ブラウン会長はこれを第二の最優先事項とされ、世界の隅々迄ワクチンを運び、広域に一斉投与する為、輸送費や運搬具の協力を要請された。



ハワイよりチャイ団長ら高校生4名を招待

RIは2005年の創立百周年記念に全世界にボリオ絶滅宣言を行う為、2000年迄に世界中のワクチン投与を完了し、残りの5年間で追跡調査、結果を確認の上、絶滅宣言を行うという計画だった。この説明は地区内クラブにとって理解しにくいものだったが、ブラウン会長の意を受け、地区にボリオプラス特別委員会を設け、推進を計った。

第3のテーマ「平和に挺身」についてはロータリーが国連の設立に深い関わりを持ち、国連憲章には多くのロータリアンが関与したこと学び、今なお戦火が絶えないと言う現実を直視、世界から戦火が消え去る迄、ロータリアン一人一人がその推進者となって平和を求める努力をすべきことを強調された。

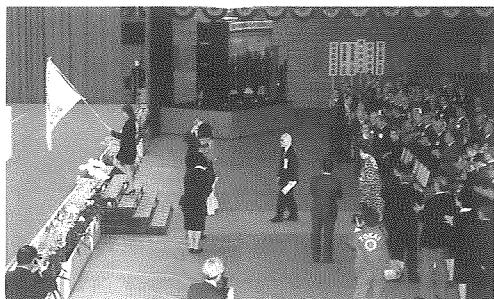
「平和は私達ひとり一人が胸の内に宿すことから始まります。家族全員の心が平和であれば家庭は平和になります。家庭が平和であればその村や町も平和になります。地域が平和ならばその国全体が平和になります。各國が平和であれば世界全体が平和になります。」と語る言葉は胸を打ち、ブラウン会長は基となる家庭を大切にすることにダイアン夫人と共に特に熱心だった。第3のテーマでは家庭の大切さと青少年奉仕活動の重要性から地域に密着した奉仕活動の再認識と、特に、青少年に関するRCCの提唱を懇請した。

地区運営とロータリー活動について

特に重点的に実施した事業と行事

この年度、はじめて9人の女性ガバナーが出現したこと等時代の変遷につれ、変わりゆくロータリーの姿を話し、対応の必要性を訴えた。地区、クラブ運営共、とかく肥大化しがちな組織や形骸化し易い事業の見直し、簡素化と節約を要望した。地域に密着した奉仕の実践をお願いし、青少年交換、R財団、米山等については地区委員長はじめ委員の自己負担の多さに固定事務所の設置を提案した。

地区大会は簡素な中にも実り多く、しかも少人数、単一クラブで手作りの大会を見事実現し、財政的にも成功した。ホスト東海RC服部義則大会委員長はじめクラブの皆さんに改めて深甚な敬意と感謝を申し上げたい。



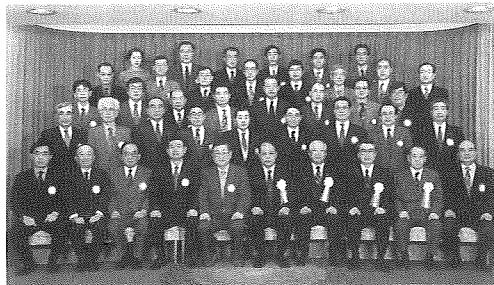
加美山節RI会長代理を迎えた手作り地区大会(東海市)

IMは従来の方式に因われず、分区内クラブの事業計画の遂行状況の把握と事例紹介、研修の機会がなくなった新人教育の場としての活用をお願いし、各分区代理は熱心に分区の特徴を活かしたIMを実施された。

この年度、特筆すべき事業は次の通り。

- 1) 最重点事項の会員増強で名古屋名東RC19名増を筆頭に対前年対比235名の純増を達成した。期末女性会員は46名。
- 2) 豊橋南RC(中村英彦特別代表)は1996年1月24日豊橋東RCを、名古屋名北RC(吉村知一郎特別代表)は1996年4月16日名古屋錦RCをスポンサー、2クラブが誕生し、

75RCとなった。豊橋東RCは豊橋南RCが創立30周年を記念し、20%の会員が移籍、その中核を構成するという画期的な拡大だった。



豊橋東ロータリークラブ創立

又、名古屋錦RCは夜間例会で、当初から10名の女性会員を擁した。

- 3) 豊橋ゴールデンRC提唱により、青少年のボランティア活動、福祉活動を支援し、推進するRCC豊橋ボランティア ハートネットワーク ディレクターズサークルが1996年4月1日発足。
- 4) 8回に亘るIAC海外派遣先ハワイをこの年度で終了、その区切りにダーレン・チャイ 団長外4名の高校生を地区で招待、謝意を

表し親善を深めた。(7月10日～25日)

- 5) ポリオプラス根絶資金を呼びかけ、480余万円の浄財協力を得た。ネパールへランドクルーザー1台を寄贈。
- 6) RI会長賞を地区内50クラブが受賞。
- 7) R財団恒久基金に寄与するベネファクターが地区内で75名を突破、ニース国際大会で表彰楯を受領。
- 8) 名古屋第二分区8クラブ共同提唱の名古屋名城RAC誕生。(1996年6月30日)

年度を振り返って

女性会員増強、メークアップ期間延長を始め変わりゆくロータリーの現実を踏まえ、RI会長のテーマに沿い充実した1年だった。簡素化を旨とし、地区財政も健全に推移した。

カルガリー国際大会はじめ国内外諸行事参加は素晴らしい出会いと友情の場となった。

この1年間、近藤友右衛門バストガバナー、伊藤淳二名古屋中クラブ会長はじめ57名のロータリアンとの告別は辛い思い出となった。

石川ガバナー年度の思い出



地区幹事
神野 紀郎
(豊橋)
1937年2月11日生
1968年10月
豊橋RC入会
1988～'89年 地区副幹事
1992～'93年 会長
シニアアクティブ
(ホテル)

私は大変恵まれた地区幹事であった。その訳は、第一に石川ガバナーが曾て高沢ガバナー時代の地区幹事でロータリーの生き字引のような人であったこと、その二是、事務局員に宮地ガバナー時代の事務局員を経験した渡辺嬢が来てくれたこと、スタッフには豊橋RCから優

秀な人達が集ってくれたこと等大雑把人間の私にとってはとても強い味方だった。苦労したこととは、人事でした。ガバナーのご指示により新旧交替をお願いし少し新しい風を入れることができた。財政面では明瞭会計と質素、儉約を旨とし、分区代理、委員長各位に絶大なご協力をいただいたおかげで400万円の上積繰越金をつくることができた。

思い出は東海RCがホストした地区大会です。スタート早々から実行委員長が退会されるというアクシデントがあったが、新しい服部委員長と大会幹事加古氏を始め東海RC全員が石川ガバナー方針をしっかりと受けとめ、地方都市らしい立派な大会に仕上げていただいたことである。

分区代理



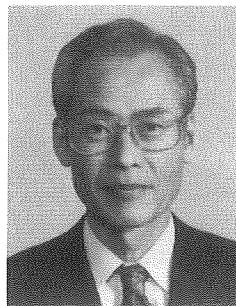
尾張第一分区
市田弘治(常滑)



名古屋第一分区
荒木 嶽(名古屋港)



名古屋第二分区
浦野三男(名古屋北)



東尾張分区
福田清成(江南)



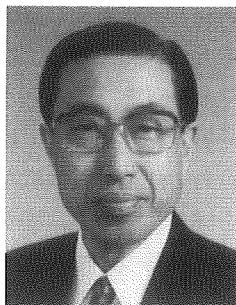
西尾張分区
松前憲典(一宮中央)



東三河分区
平野義郎(田原パシフィック)



西三河第一分区
加藤正男(岡崎南)

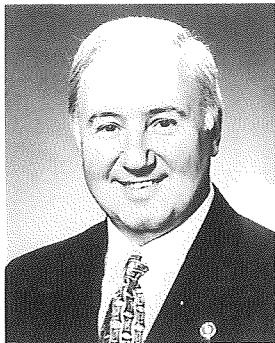


西三河第二分区
石川八郎右衛門(碧南)

ガバナー事務局メンバー

地区幹事 神野 紀郎 (豊橋)	地区副幹事 佐藤 健次 (豊橋)	地区会計監事 川部 庭資 (豊橋)
地区副幹事 松井英治郎 (豊橋)	地区副幹事 松井 章悟 (豊橋)	地区補佐 黒谷 尚弘 (豊橋)
地区副幹事 磯村 直英 (豊橋)	地区会計長 内山 卯 (豊橋)	事務局員 渡辺 利恵

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第87回)	カルガリー (カナダ)	1996年 6月23日 ~26日	ハーバート G. ブラウン (米国)		24,961名
地区大会	東海市立体育館	1995年 11月11日 ~12日	加 美 山 節 (東京北)	東 海	2,442名
	大会テーマ : 記念講演 :	「活力とぬくもりあふれるロマン都市感動と出会いをもとめてー未来へ発進」 「世界の中の日本」 石原慎太郎氏			
地区協議会	小牧市民会館	1996年 5月12日	松 本 宏 GN	小 牧	1,000名
期末の会員数・クラブ数		6,247名 · 75RC			



RI会長
ルイス・ビセンテ
・ジアイ
(アルゼンチン)

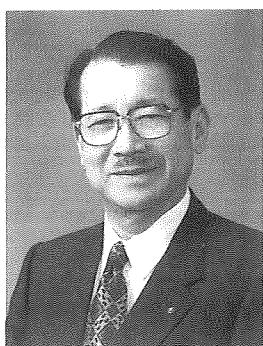
RI会長方針

文明は幾千のレンガで築かれた大きな建物のようなものである。私たちひとりひとりが人類という大きな機構を支える一つのレンガである。私たちは、ロータリーのレンガであり、ロータリーという建物の礎石、柱、土台である。ロータリーは、私たちのクラブを土台とし、私たちの献身を柱として奉仕の理想を守り、その上に築かれる。そして奉仕への献身に基づいて行動すれば、私たちロータリアンは、未来の建設者たりうる。進歩は宇宙の道徳律で、この進歩に貢献できない世代は、人類の歴史に足跡を残さず消えていくであろう。ロータリーの真価は、私たちがいかに行

1996～'97年度RIのテーマ BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION 築け未来を 行動力と先見の眼で

動するかにかかっている。行動は言葉より雄弁である。行動がなければ「超我の奉仕」は空念仏にすぎない。すべてのロータリアンが身をもって参加することが、行動で未来を築く唯一の方法である。

1996～'97年度RIテーマ。「築け未来を一行動力と先見の眼で」①先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう。②会員増強で未来を築こう。③職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう。④次の世代を準備することによって未来を築こう。⑤平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう。⑥ロータリー財團を支援することによって未来を築こう。



ガバナー
松 本 宏
(半田)

1926年11月23日生
1964年 7月
半田RC入会
1987～'88年 会長
1993～'94年
尾張第一分区代理
シニアアクティブ
(小児科医)

年度の方針及び活動内容と感想

1996年度RIテーマ「BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION」に基づき、次の6項目の重点目標を掲げて、その実践にあたった。

1. 先達の歩みに敬意を払うことによって

未来を築こう。本年度はポール・ハリス没後50周年に当たる。どうすれば先達の歩みに敬意を表することが出来るかを考えようと、地区大会にてポール・ハリス没後50周年記念行事の趣旨と各クラブで行う記念事業についての発表があり、公式訪問では、ロータリーの原点を再確認する必要性を強調した。

2. 会員増強で未来を築こう。会員増強と拡大は、ロータリー活動を推進する上で必須の条件である。新会員特に若い会員の増強と女性会員の入会をすすめ同時に退会防止にも力を注ぐことを要請した。その結果、今期は名古屋東山RCを設立、増強は6月までに198名の純増を達成することが出来た。



アナハムイ国際協議会にて ジアイ会長夫妻と記念撮影

3. 「次の世代を準備することによって未来を築こう」。新世代の健全育成活動の推進を強力に実施した。青少年の健全育成の課題として豊かな情操と創造性そして思いやりの心や、連帯意識に基づく実践的な社会性と相互理解に基づく連帯感と協調の精神を養うことの必要性を説いた。新世代プログラムとして「新世代会議」の開催を要請。地区内各クラブで積極的に実施された。この会議の目的とするところは、地域の新世代と地域指導者、ロータリアンとの対話集会の中で、新世代の夢や希望を聴いてやり、地域の諸問題について話し合い、将来のビジョンを明確にして、互いにその責任を共有しようとするもので、今後の成果が大いに期待される。インターアクト、ローター アクト、ライラについても活発な活動がなされて、大きな成果を挙げることが出来た。

4. 地区社会奉仕活動の中で特筆すべき活動の一つとしてRCC(ロータリー地域共同隊)を挙げることができる。今年度名古屋守山RC、岡崎東RC、常滑RCでRCCが設立された。新世代プログラムと共に今後の継続活動が期待される。

5. 国際奉仕活動としての青少年交換学生、WCS、ポリオプラスキャンペーン等の支援は今後更にその必要性と要望が高まることが想定される。

6. ロータリー財団を支援する活動及び我が国独自の奨学金制度の米山記念奨学会への協力支援も年々高まって来ていることは喜ばしいことである。

7. 1996~'97年度第2760地区大会が10月12、13日に呉在塚、朴寶懃ご夫妻をRI会長代理としてお迎えし、地区内外より2615名の参加があり、第1日目はホテルナゴヤキャッスル、第2日目は稲沢市民会館にて盛大に開催された。今年度の地区大会は、ルイス・ジアイ RI会長の示されたテーマ「築け未来を行動力と先見の眼で」に基づき「新世代を育成して未来を築く」をロータリー・ミーティングで取り上げ、青少年活動の紹介を交え、21世紀を担う青少年の健全育成についてのロータリアンの活動指針を示した大会であった。印象に残るのは、歓迎夕食会での呉RI会長代理のスピーチで「SMILEについて。ポール・ハリスは、微笑みは人間の顔なる窓に照らされた光である。互いに取り合う手、そして微笑みが日々の糧である。ロータリーによって誠に生きることを学び、新しい人となる



グラスゴー世界大会にて呉在塚RI会長代理と再会することを喜ぶ。人、微笑みが人生の生き路を照らす最上の説教であり、生き甲斐あるものとする。微笑みは人間の特権であり、愛と楽しみ、そして喜びである。」と述べられ参加者に多大の感銘を与えた。

8. 今年度私は第2760地区のターゲットと

して「実践するロータリー・プラス1」を掲げた。ロータリーは実践することに意義があることを強調したもので、地区内各クラブ、それぞれご協力いただき感謝いたした次第である。

ポール・ハリスは「世界は常に変化している。ロータリーは、この世界とともに変化し成長していかねばならない。ロータリーの物語は、幾度も書き替えなければならない。」と云つておられる。ここにロータリーのたゆまざる発展の秘密があると考えられる。これ



地区大会にて

からも地域のニーズに合ったロータリー活動が求められ続くと信じて疑わない。

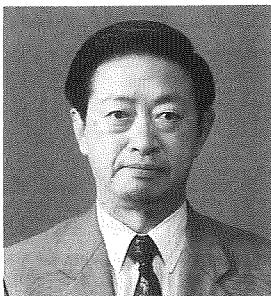


地区大会にて



カルガリー世界大会にてジアイ会長と握手する

松本ガバナー年度の思い出



地区幹事
内田 栄一
(半田)
1933年8月29日生
1961年2月
半田RC入会
1989~'90年 会長
1995~'96年
地区WCS副委員長
シニアアクティブ
(和菓子製造)

9年前に経験したとはいえ、やはりガバナ一事務所の運営は大変だった。あの当時から15クラブ・約1,500人の増強で、仕事量はもちろん内容もすっかり変わってしまい、RI会長方針に基づく事業の展開で、関係委員会を始め各クラブに随分無理なお願いもした。新一代会議などはその一つである。

また米山・財団など専門的な知識を必要と

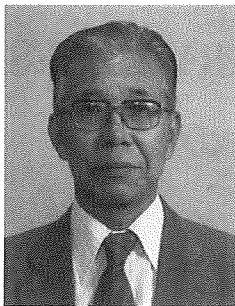
する事務は、1年で交代するガバナー事務所では到底処理しきれず、青少年交換を含めた3委員会の事務を固定事務所に移すことを提案、内藤年度から実現する運びとなった。

公式訪問も大事業であったが、犬飼年度から方式が変わったので、地区内全クラブを訪問するのはこの年度が最後となった。

幸い前回の事務局員を再度お願い出来たのと、クラブとスタッフの強力な支援のお陰で無事任務を果たせたと思っている。

最も印象深く、かつ大きな収穫は、稲沢RCのホストで盛大に開催された地区大会で、RI会長代理吳在璟氏の高邁なロータリー精神と人格に触ることができたことであった。

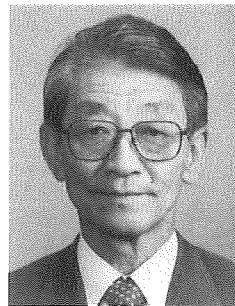
分区代理



尾張第一分区
森岡秀夫(知多)



名古屋第一分区
名務芳樹(名古屋東南)



名古屋第二分区
古川善次郎(名古屋東)



東尾張分区
伴野富三(小牧)



西尾張分区
酒井 孝(一宮)



東三河分区
石川孝司(豊橋)



西三河第一分区
森 順次(豊田東)

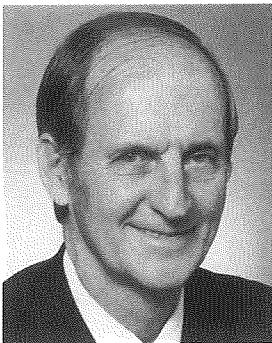


西三河第二分区
小出和巳(一色)

ガバナー事務局メンバー

地区幹事	内田 栄一 (半田)	地区副幹事	山田 達 (半田)	地区補佐	関 明生 (半田)
地区副幹事	杉浦 三郎 (半田)	地区会計長	鈴木 千里 (半田)	事務局員	前田 博美
地区副幹事	竹倉 鍵治 (半田)	地区会計監事	鈴木 亮三 (半田)	事務局員	小栗 真子
地区副幹事	前田 捷彦 (半田)	地区補佐	山内 和之 (半田)		

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第88回)	グラスゴー (スコットランド)	1997年 6月15日 ~18日	ルイス・ビセンテ・ジアイ (アルゼンチン)		23,502名
地区大会	ホテルナゴヤキャッスル 稲沢市民会館	1996年 10月12日 ~14日	吳 在 瑉 (ソウル)	稲沢	2,667名
地区協議会	ホテルナゴヤキャッスル	1997年 5月24日	犬飼 荣輝 GN	名古屋名東	1,621名
期末の会員数・クラブ数		6,366名 · 76RC			



RI会長
グレン W.
キンロス
(オーストラリア)

RI会長方針

ロータリーの強味は、いついかなる時も、1人ひとりのロータリアンである。

このように強力な人材に恵まれている団体はほかにはない。この人材を存分に活用し、地域社会の深刻な問題の解決に当たらせる時がきた。120万人のロータリアンが28,000の地域社会で、生活の質を向上させるよう心を碎けば、より良い世界を築くことができる。

飢餓・貧困との戦いを始めよう。これはこの世の悪の根源だ。しかし食糧と住居を提供するだけでは、問題は解決しない。自から努力して、その生活を向上させてゆく手段が必

要である。

私たちは文字と数字の世界にいきている。字が読めない、書けない、計算ができないでは、生活の向上は望めない。基礎教育の普及こそ、雇用の拡大と生活の安定化をはかる鍵である。

ロータリアンの影響力は非常に大きいが、多くのクラブはその力を出し切っていない。

犯罪、貧困、ホームレスなどの社会的病根と戦うため、ロータリーは地域社会の良心となり、率先して行動をおこしてほしい。

私たちは草の根レベルで、ロータリーの心を、先ず自分から示そうではないか。



ガバナー
犬飼 荣輝
(名古屋東南)

1929年10月8日生
1982年11月
名古屋東南RC入会
1993~'94年 会長
シニアアクティブ
(私鉄経営)

年度の方針及び活動内容と感想

①キンロス会長のテーマにそって

今年度のRI会長方針は「貴方の地域社会のために、私たちの世界のために、そこに住むすべての人々のために、ロータリーの心を行動で示せ」ということ。これは前年度ジア

イ会長の「築け未来を 行動力と先見の眼で」というテーマと通じるところがあり、これを引き継ぎ、更に強調したものと思われる。

キンロス会長のテーマの中心課題は、世界から飢餓と貧困をなくすこと——これが今日の文明社会に存在すること自体が、人類の恥であるとまで言われている。

本年度の地区方針は、友愛と親睦を深める基本的なロータリー精神を継承すると共に、RI会長方針にそって、各分野の国際奉仕活動への積極参加を重点課題とした。

②新リーダーシッププラン

1996年RI理事会で承認され推奨されている「地区リーダーシッププラン」について、



'97.9.15新世代のためのロータリー園遊会 名鉄犬山ホテル
当地区ではガバナーの責任において分区代理の任務を拡大し、実質的にガバナー補佐の役割を果すよう変更した。これはガバナーの任務を個人レベルから組織レベルに変えていくこうとする試みで、ガバナーと分区代理はこれまで以上に密接な連携を持ち、より効果的なリーダーシップの発揮を目的とする。同時にガバナーは、地区内のロータリー活動全体の活性化をはかり、いろいろなニーズに積極的に対応できることとなった。

このためガバナーの公式訪問は、原則として2~3クラブの合同例会で行なった。ガバナーはこの例会の前に、各クラブ毎に会長幹事協議会を開催し、そのクラブの重点課題につき会長・幹事・担当委員長と協議した。

分区代理は、合同例会によるガバナー公式訪問の前の1週間ないし1カ月前に各クラブを訪問し、クラブ協議会を開催してその内容をガバナーに報告した。

新リーダーシッププランの採用は、地区全体の親睦と奉仕活動の活性化、およびロータリー組織の活性化に役立ったものと思う。

③新世代の育成と環境保全

青少年活動を始めとする新世代の育成と、環境保全対策は、地球市民として将来を考える時、もっとも重要な課題である。

新世代育成については、青少年交換や米山

奨学生、財団奨学生、RAC、IAC、RYLA、日比および日タイ愛知奨学金基金などを実施。昨年度からの新世代会議を引き継ぐと共に、今年度からはRI財団プロジェクト「研究グループ交換・GSE」をブラジル4430地区と協定して実行した。

環境保全対策も、昨年にひき続き各RCで独自のいろいろな活動を行ったほか、今年は地区大会ロータリーミーティングのテーマを「ロータリーの心を 自然と共に」とし、環境問題を主題とした。

④クラブ拡大と会員増強

本年度もクラブの新設めざし、鋭意努力中である。会員増強については、各クラブ目標を定め、とくに若い新会員や女性会員の入会に力を注ぎ、成果をあげつつある。

新会員の推せんは、ロータリアンにとって名誉であり、義務でもある。全員参加で目標達成のため更に努力を重ねたい。



'98.3.26 RI4430地区GSEチーム歓迎会 名鉄グランドホテル

⑤広報活動の強化

世間一般の人のロータリーに対する認識は意外にうすく、誤解も多い。私どものいろいろな奉仕活動の努力が、充分に知られていない。ロータリーは誇大に宣伝することはないが、等身大にPRする必要性が痛感される。

本年度は、とくに中部経済新聞が計画的に2760地区の動きや、各RCの方針、活動状況、

およびその成果を詳細に報道した。私どもはこの中部経済新聞のご尽力に敬意を表すと共に、今後も一層密接な連携プレーを続け、広報活動を更に強化したい。

⑥ワンクラブ・ワンカラー

各RCはその歴史と伝統のなかで、それぞれ明るく楽しいクラブづくりに努め、また独自の奉仕活動を持っている。

今年度は期始めに各RCが「ワンクラブ・ワンカラー」をテーマに、クラブ運営や奉仕活動で、新しい重点方針または目標を設定していただくようお願いした。

各RCでは、会員の合議でそれぞれに個性のあるユニークなクラブ方針を新設し、その実行と実現を期して努力している。

今年度はまだ期の途中であるから、当地区的事業をまとめることはできないが、主なものだけ中間報告したい。

○会員増強

'98年2月末現在、地区全体の純増会員は

計194名。'97年7月1日の会員6,256名が'98年2月末6,450名となった。(うち女性66名)

○出席率

7月から2月末までの地区内全クラブの平均出席率は98.48%。これはわが国の34地区でトップクラスの記録である。

○新世代園遊会

'97年9月15日、明治村と名鉄犬山ホテルで米山奨学生、交換学生、ホスト家族や学友会およびRAC、IAC会員を招き、新世代のための園遊会を開催した。参加者は約500名。

○地区大会

本年度の地区大会は'97年11月8日、9日の2日間にわたり「21世紀に向かって創造と交歓in田原」をテーマに、豪華客船「飛鳥」をトヨタ自動車田原工場のバースに接岸し、陸上にもテント村を設営して開催した。RI会長代理は今井篤ご夫妻(2540地区PG)、ホストは田原RC、コ・ホストは田原パシフィックRCであった。

犬飼ガバナー年度の思い出



地区幹事
片山主水
(名古屋東南)
1939年11月17日生
1972年3月
名古屋東南RC入会
1992~'94年
地区WCS委員長
1995~'96年 会長
シニアアクティブ
(弁護士)

「地区便覧」と「役員会長披露懇親会」

年度の最大関心事は、全国に率先して採用したガバナー決断の「地区ニューリーダーシッププラン」の推進とその後の定着である。10年先、定着してこの言葉が死語となるか、定着せずして死語となるか、興味津々である。一番被害(?)の大きかったのは8名の分区代理さんだっただろう。青のプレザーとともに

八面六臂の大活躍の年であった。

「ワンクラブ・ワンカラー」、それに中部経済新聞と共同でロータリー広報キャンペーン。

裏方としては「会長エレクト研修セミナー(ペツツ)資料」に「RI会長テーマ」と「ガバナー方針」を収録し、他の新しい資料を加えて「地区便覧」と命名しての改訂編集。

また年度当初、ガバナー・分区代理をはじめ地区役員と各クラブ会長・幹事が一堂に集まった「就任披露懇親会」も思い出の一つだ。

未曾有の平成不況の真っ只中、新クラブの誕生こそなかったものの、年度僅日を残す今日までに会員増強が200名を超えたのは、新プラン採用を始めとする「ワンイヤー・ワンカラー」の成果だっただろうか。

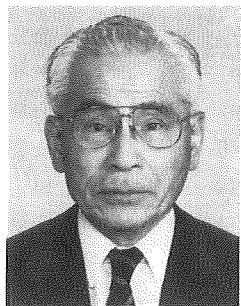
分区代理



尾張第一分区
河合博文(東海)



名古屋第一分区
堀田逞二(名古屋中)



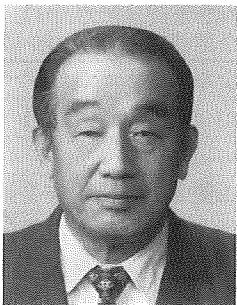
名古屋第二分区
山田静夫(名古屋守山)



東尾張分区
早川八郎(春日井)



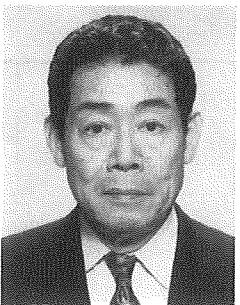
西尾張分区
加藤千博(尾西)



東三河分区
鈴木省三(蒲郡)



西三河第一分区
有馬惟夫(岡崎城南)



西三河第二分区
杉浦重行(高浜)

ガバナー事務局メンバー

地区幹事 片山 主水 (名古屋東南)	地区副幹事 福島 啓氏 (名古屋東南)	地区会計長 近藤 三吉 (名古屋東南)
地区副幹事 伴 滉夫 (名古屋東南)	地区副幹事 佐久間貞介 (名古屋東南)	
地区副幹事 宮崎 薫 (名古屋東南)	地区副幹事 鈴木 雅雄 (名古屋東南)	地区会計監事 福山 巧 (名古屋南)
地区副幹事 大西 弘高 (名古屋東南)		事務局員 渋谷 美香

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	ホストクラブ	参加人員
国際大会 (第89回)	インディアナポリス (アメリカ)	1998年 6月14日 ~17日	グレン W・キンロス (オーストラリア)		
地区大会	トヨタ自動車田原工場 田原バース 飛鳥船上＆大型テント村	1997年 11月8日 ~10日	今 井 篤 (大館)	田 原	2,573名
大会テーマ： 21世紀に向って“創造と歓喜” in 田原					
記念講演：“世界の国あれこれ” 飛鳥船長 幡野 保裕 氏					
地区協議会	豊田市民文化会館	1998年 5月23日	内 藤 明 人 G.N	豊田西	
期末の会員数・クラブ数		6,453名 · 76 RC (1997年12月末日現在)			

パストガバナーのR I並びに米山記念奨学会等役職名表

【注】森・奥谷・福田PGの記録は参考資料です。田中PG以下はこの10年の記録です。

P G 氏 名	年 度	R I 並びに米山記念奨学会等役職名
森 泰樹	79~80	R I 会長代理 第252地区大会
	91~92	ロータリー研究会 第1・第3ゾーン実行委員長
	92~93	R I 会長代理 第2520地区大会
奥 谷 博 俊	86~87	R I 会長代理 第279地区大会
	88~89	R I 規定審議会地区代表議員 (シンガポール)
	91~92	第1・第3ゾーン ロータリー研究会パネリスト
	92~93	R I 天体地球の保全実行グループメンバー (アジア担当)
	83~84・87~88	ロータリー米山記念奨学会評議員
	89~90	ロータリー米山記念奨学会学務委員
	89~94	ロータリー米山記念奨学会理事
福 田 浩 三	84~85	ロータリー米山記念奨学会評議員
	85~86	R I 規定審議会地区代表議員 (シカゴ)
田 中 徹	91~92	R I 規定審議会地区代表議員 (アナハイム)
	86~87・94	ロータリー米山記念奨学会評議員
	95~現在	ロータリー米山記念奨学会理事
	96	ロータリー米山記念奨学会学友委員
	97	ロータリー米山記念奨学会学友委員長
高 澤 隆	88~89	ロータリー米山記念奨学会評議員
	90~91	第1・第3ゾーン ロータリー研究会パネリスト
	92~93	第1・第3ゾーン RCC 実行グループメンバー
	92~93	R I 会長代理 第2600地区
	94~95	R I 規定審議会地区代表議員 (ベネズエラ)
盛 田 和 昭	88~90	ロータリー米山記念奨学会評議員
	97~98	R I 人間尊重推進グループ 第3ゾーンアドバイザー
	97~98	R I 規定審議会地区代表議員 (インド)
	98~99	ロータリー研究会ゾーン第1~第4 (A) 実行委員長
中 村 繁 男	89~91	ロータリー米山記念奨学会評議員
加 納 泉	90~92	ロータリー米山記念奨学会評議員
	92~93	第1・第3ゾーン ロータリー研究会シンポジスト
	96~97	R I 会長代理 第2510地区大会
神 戸 政 治	91~93	ロータリー米山記念奨学会評議員
	93~94	第1・第3ゾーン ロータリー研究会パネリスト
	96~97	第3ゾーン R I 理事指名委員
宮 地 信 尚	92~93	ロータリー米山記念奨学会評議員
蜂 谷 弘 道	93~95	ロータリー米山記念奨学会評議員
	95~現在	米山梅吉記念館理事
石 川 和 昌	94~96	ロータリー米山記念奨学会評議員
	97~98	R I 恒久基金日本研究グループ委員
松 本 宏	95~97	ロータリー米山記念奨学会評議員
	97~98	ロータリーの友顧問
	97~98	米山梅吉記念館評議員